

Ⅱ 事業の概要

2015年度に行われた学校法人及び設置学校における事業の概要は、次のとおりです。

1 重点施策の推進

(1) 中期計画（第1期）の実施～長期ビジョンの実現に向けて

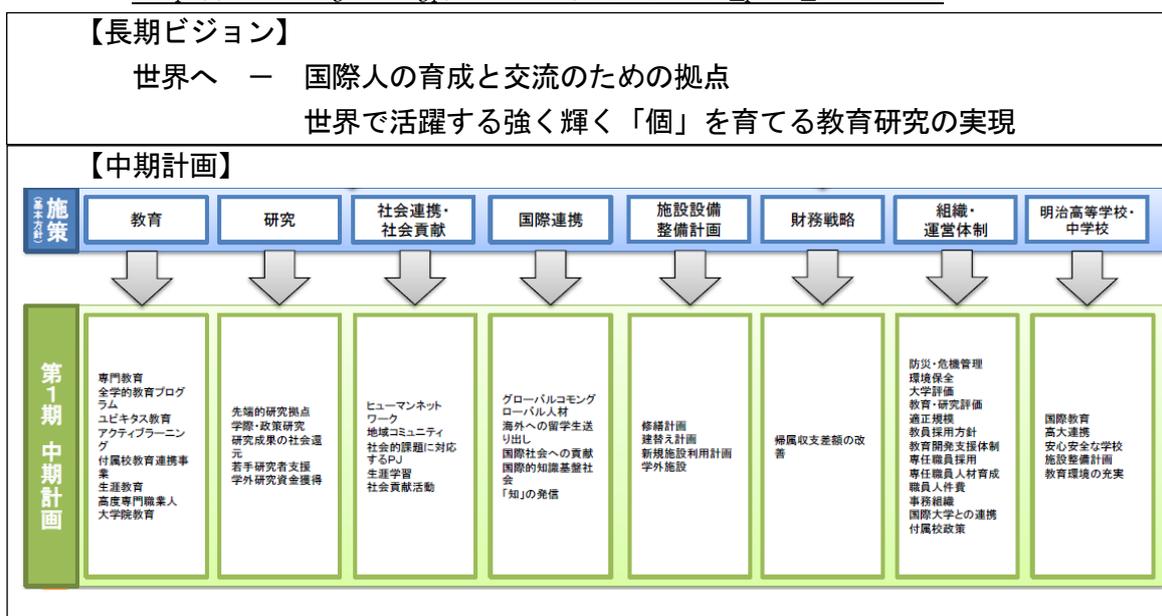
学校法人明治大学中期計画（以下「中期計画」という。）は、「学校法人明治大学長期ビジョン」を具体化するための中期（4年間）の計画を定めたもので、2014年度から2017年度までの計画を「中期計画（第1期）」として策定しています。

2015年度も、中期計画（第1期）の各プランを事業計画や予算編成に反映させ、各所管において着実に実行に移しました。

また、2015年度末で、中期計画（第1期）のうち前半の2年間で終了したため、当該2カ年の計画の実施状況を振り返り、達成度を評価した「中間総括」を実施しました。あわせて、状況や環境の変化に応じて、2016年度以降の計画の見直しを行いました。このことにより、後半の計画のスムーズな実行へ繋がります。

本学構成員が中期計画を共有し、想いを一つにすることによって、長期ビジョンの実現を目指します。

※ http://www.meiji.ac.jp/chousaka/middleterm_plan_ver1.html



(2) キャンパスグランドデザイン～大学全体の地区計画・教育研究施設設備計画

安全かつ高度な教育・研究活動を確保するため、各キャンパスからの要望や本学の財政状況等を踏まえ、今後10年間を見据えた大学全体の施設建設計画に係る優先順位を策定しました。今後はこの計画に基づき、教育施設、研究施設、学生環境の整備を推進します。あわせて、既存施設の修繕、改修を適切に実施していきます。

(3) 系列法人「国際大学」との連携～世界トップクラスのグローバルユニバーシティを目指して

本学の系列法人である学校法人国際大学とは、相互の建学の理念を尊重の上、法人間の連携及び教育研究活動の包括的な交流と連携・協力を推進することにより、両法人の目指す「世界トップクラスのグローバルユニバーシティ」の実現に向けて、相互に事業計画及び教育研究活動の支援を行っています。2015年度も、本学から役員の過半数を派遣するとともに、各種連携事業を実施しました。

※ 国際大学HP <http://www.iuj.ac.jp/ja/>

(国際大学は、1982年に設立された日本初の大学院大学で、授業はすべて英語で行われています。キャンパスは新潟県南魚沼市にあり、学生の約8割を留学生が占め、全寮制、完全秋入学制度などの特徴があります。国際大学も「スーパーグローバル大学創成支援」事業(SGU)のタイプBに採択されています。)

ア 系列法人協議会の開催

両法人が合同で設置する協議会において、円滑な系列法人間の運営を行うため、連携・協力事業に関する事項の協議及び情報の共有化を図りました。

イ イベント・ガイダンス等の実施

- (ア) 本学大学院合同進学相談会に国際大学ブース設置
- (イ) 国際大学インターナショナルフェスティバルに本学学生等が参加
- (ウ) 駿河台・中野キャンパスでの国際大学入学ガイダンスの開催

ウ 教員人材交流

両大学で「教員人材交流に関する覚書」を締結しました。2016年度から、両大学の教員が、相手方大学において講義等を実施することとなりました。

エ 職員研修

1年間の職員研修(1名の相互派遣)を実施しました。

オ SGH(スーパーグローバルハイスクール)への支援

2015年度にSGHの指定を受けた新潟県立国際情報高校(南魚沼市)に、国際大学と連携して、高校で講義を実施するなどの支援を行いました。

(4) 戦略的広報活動の展開～アップトゥデイトな情報発信

広報戦略本部を中心に、教育研究活動及びこれに付随する諸活動に関する情報等を広く学外に発信するための広報戦略を策定するとともに、それに基づく最重点項目を設定し、本学のブランドを高める広報活動を推進しました。「明治大学広報」、広報誌「M-Style」・「明治」等の紙媒体のほか、ホームページ、SNS等各種媒体を通じた情報発信、メディア・記者に対するプレスリリース等により、「旬(しゅん)」な明治大学の情報を学外に発信しました。

ア 中国版ツイッター「新浪微博」の明治大学公式ページを開設

中国 No. 1 ソーシャルメディア「新浪微博(Weibo・ウェイボー)」の公式アカウントページを開設しました。主に中国語圏の方に向け、明治大学の魅力を発信しています。

※ http://www.weibo.com/meijiuniv?is_hot=1

イ 海外向けのインフォーマーシャルを制作・放送

日本に興味・関心を持つ外国人を対象に、明治大学や東京の魅力を伝えるインフォーマーシャル(情報提供型広告)を制作し、東南アジアの放送局「WAKUWAKU JAPAN」

での放送を開始しました。インドネシア・ミャンマー・シンガポールの3カ国において、現地言語に合わせた字幕を付けて放送しました。

※ <https://youtu.be/HBdN9NadGns>

ウ 「マスコミ交流会」を開催

本学関係者とマスコミ関係者との交流や情報交換を目的とする第21回「マスコミ交流会」を4月に駿河台キャンパスで開催しました。第1部では、石破茂地方創成担当大臣と小田切徳美農学部教授が対談し、第2部では、本学関係者とマスコミ関係者の名刺交換・交流会を開催しました。

エ 情報WEBサイト「Meiji.Net」（メイジネット）リニューアルオープン

社会に対し、広く、よりわかりやすく大学の教育・研究情報を発信している情報WEBサイト「Meiji.net」（メイジネット）をリニューアルオープンしました。

※ <http://www.meiji.net/>

(5) オール明治で前へ～ステークホルダー（校友会・父母会）との連携

ア 校友会との連携

(ア) おかえりなさい！～第18回ホームカミングデー開催

10月、駿河台キャンパスにおいてホームカミングデーが開催され、約3,800名の校友やその家族等が来場しました。

(イ) ヒューマンネットワークの拡大～新たに会旗授与

校友会が2015年度に新たに承認した次の団体に会旗を授与しました。

「ロサンゼルス紫紺会」、「インド・チェンナイ紫紺会」

(ウ) 第51回全国校友滋賀大会

9月、全国の校友会支部、韓国・台湾の海外支部から約1,200名の校友が参集し、旧交を温めるとともに、新たな絆も深めました。

(エ) 校友会入会記念ウェルカムパーティーの開催

卒業生らに母校への思いをより深めてもらうことを目的に、2016年3月卒業（修了）の学生を対象とするパーティーを3月に開催しました。

(オ) 地方出身者対象「つなげ！紫紺の“たすき”」奨学金

校友会は、「校友から明大生へ、襷（たすき）を繋（つな）ぐように、皆さんを応援したい」という願いをこめて、「つなげ！紫紺の“たすき”」奨学金を設けています。この奨学金は、学費等以外にも生活費を必要とする地方出身者に奨学金を給付することにより、地方からの入学を促進することを目的とした給付型奨学金（返還不要）です。なお、採用された学生は、校友会が主催・後援する式典、講演会等に参加しました。

※ <http://meiji-shikon.net/>

イ 父母会との連携

(ア) 父母会総会・父母懇談会

明治大学連合父母会が主催した父母会総会・父母懇談会が5月から7月にかけて、全国57地区父母会で開催されました。懇談会では、学生生活、学業成績、就職等に関して、父母と大学担当者との間で熱心な個別相談が行われました。

(イ) 父母対象の就職懇談会

首都圏11地区の父母会は合同で、学部3年生の父母を対象に就職懇談会を10月に本学アカデミーコモンで開催しました。父母約1,500人が参加した懇談会では、父母の不安を少しでも和らげ、子息・子女への効果的な支援とコミュニケーションを促すために、本学の就職支援体制の説明、専門家による講演会、内定者(4年生)によるパネルディスカッションが行われました。

(6) 多くの方々からの熱いご支援～募金活動の推進

ア 寄付の実績

2015年度に本学が受けた寄付金の総額は、4億9318万9837円(前年度比約1億1770万円の増)でした。

寄付金の主な内容については次のとおりです。

(ア) 未来サポーター募金

未来サポーター募金は、奨学、国際化、研究、スポーツ及びキャンパス整備の5つの資金(使途)から構成される募金制度です。主な募集対象者は校友、教職員、一般篤志家の個人・団体・法人で、寄付金の使い道を寄付者の方が上記5つの資金の中から選択することができるのが特徴です。

2015年度は3300件、約2億3440万円(前年度比約7000万円の増)の寄付を賜りました。これには、不要な書籍等の買取査定額が奨学サポート資金に寄付される「本棚募金」による寄付金約371万円が含まれています。

7月には各資金における前年度の活用結果をまとめた「活動報告書」を寄付者の方へお送りし、寄付金の活用結果を報告しました。

10月のホームカミングデーでは、現金寄付の受付を行い、各資金のスタッフが寄付者の方から直接寄付金をお預かりしました。また、同日に昨年度までの実績に基づいて寄付者の方をお招きし、大学役職者との交流会を開催しました。

そのほか、寄付に関する情報や寄付者芳名等を掲載した「明治大学広報募金特別号」を9月と1月に発行し、全国の校友へ向けて送付しました。

(イ) 教育振興協力資金

教育振興協力資金は、本学の教育・研究の充実・発展に必要な経費として活用するための資金であり、主に学部生、大学院生、専門職大学院生、法科大学院生の父母と明治高等学校・中学校の新生父母を対象に募集しています。

2015年度は318件、約3820万円(前年度比約550万円の増)の寄付を賜りました。

(ウ) その他の寄付金

その他の寄付金として、178件、約2億2070万円(前年度比約4200万円の増)の寄付を賜りました。主な内訳は、学術研究奨励寄付金に約5530万円、奨学基金に約5530万円、校友会奨学金に約1950万円などです。

イ 寄付者顕彰制度

本制度は、本法人に対する寄付金の総額に応じた顕彰を行うべく、7月に新しく制定されました。対象者は本法人が募集する各種寄付制度への寄付の累計額が100万円以上の個人で、11月には累計額500万円以上の方にお越しいただき、称号授与式を開催しました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/bokin/index.html>

(7) 教育の情報化推進と情報環境整備

ア メディア授業の充実

2015年度は資格課程17科目、経営学部2科目、情報コミュニケーション学部4科目、司書講習（社会人対象）17科目において実施され、2,338名が受講しました。

専門職大学院会計専門職研究科では、オンライン講座提供サイト「gacco」（JM00C〔日本オープンオンライン教育推進協議会〕公認プラットフォーム）において、4週間にわたり「会計プロフェッショナル入門」を開講しました（オンライン受講はすべて無料）。

また、専門職大学院ではメディア授業を活用したカリキュラム改革の検討に着手しました。

イ Oh-o!Meiji スマートフォンサイトのリニューアル

「Oh-o!Meiji」は、シラバスの閲覧、時間割、ディスカッション、お知らせの配信機能などを備えた明治大学の学習支援システムです。このシステムを用いたスマートフォンサイトにおいて、メニュー構成をPCサイトと統一して多くの機能をサポートするとともに、英語表記に対応するなど、リニューアルを行いました。

ウ デジタルコンテンツの発信

2015年度もフォーラム・セミナー・イベント等を収録の上、大学HPや iTunes Uを通じて積極的に公開しました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/ubiq/contents/index.html>

エ eプレゼン・コンテストの開催

このコンテストは、映像コンテンツを使ったプレゼンテーション作品を制作し、その成果を競うものです。実社会において必要とされるプレゼンテーション力を向上させることなどを目的として開催されており、2015年度は春・秋と2回のコンテストが開催されました。春のコンテストの成績優秀者は韓国に派遣され、嶺南大学校（本学協定校）にて研修を実施しました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/ubiq/projects/epresen/index.html>

(8) 付属校・系列校政策

法人の健全な運営及び教育研究活動の永続的な発展のためには、学生の「数」と「質」の確保が不可欠です。学生の「数」と「質」の確保に向けた方策のひとつとして付属校・系列校政策が重要である、との認識を共有し、付属校・系列校強化推進について具体的に検討を行ってきました。推進にあたっては、学校種（小学校、中学校、高等学校）、立地、規模（学生数）、設置形態（直系、別法人等）等の課題について慎重に見極めながら、あらゆる可能性を視野に入れた検討を継続します。

2 教育改革と教学運営体制の整備

(1) 総合的教育改革の推進

『教育力』の飛躍に向けた総合的教育改革の第一歩として、2017年度から1コマ100分を基本とする新たな授業時間割や2学期4ターム制を全学一斉に導入す

ることを決定しました。これにより、学修の目的に合わせた柔軟な授業設計や学生の海外留学が容易となり、本学のさらなる教育力向上が期待されます。

新時間割では、現在「1コマ90分」の授業時間を「1コマ100分」とし、7講時を6講時に、授業期間を15週から14週に短縮します。また、100分の授業時間を、50分ごとの「モジュール」という時間単位に区分します。

新たな学年暦では、1学期14週の新たな授業期間を7週ごとに2つのタームに区分し、春学期と秋学期の「2学期4ターム制」とします。この学年暦の導入により、クォーター期間（7週）で完結する授業が可能となり、学生が容易に海外留学に挑戦できる環境が整います。

本学では、単位制度に則った授業時間を確保するための議論を2012年からスタートし、これを契機に本学の教育力を飛躍的に向上させる抜本的な改革に繋げる「総合的教育改革」を取りまとめました。この総合的教育改革は、文部科学省に採択された本学のスーパーグローバル大学創成支援(SGU)事業構想の基盤にもなっており、新たな授業時間割と学年暦は、その第一歩であり礎となるものです。

(2) 教学運営体制の強化

スーパーグローバル大学創成支援(SGU)担当副学長を新たに設け、学長の下に配置された副学長は8名(総合政策、教務、学務、研究、社会連携、国際交流、広報、SGU)となりました。これら副学長と学長室専門員が連携・協力することによって、多岐にわたる教学関連の諸課題に取り組みました。

(3) 内部質保証による教育の質向上、IR(Institutional Research)の推進

ア 自己点検・評価

2015年度自己点検・評価(2014年度報告書)は、自己点検・評価全学委員会委員長である学長から評価委員会委員長である理事長に12月に提出されました。これを受け、学外有識者等も加わる評価委員会を1月に開催し、教育・研究の水準と質の維持・向上を図るための提言を行いました。その評価結果は、報告書の一部として本学ホームページに公開しています。

※ <http://www.meiji.ac.jp/koho/about/hyouka/index.html>

また、自己点検・評価全学委員会では、2014年度大学評価結果等を基に「第3期改善アクションプラン(3カ年計画)」を策定し、2015年度から2017年度にかけて計画的に改善をはかり、その進捗を管理することとしました。課題一覧はホームページで公開しています。

※ http://www.meiji.ac.jp/koho/about/hyouka/action_plan/index.html

さらに、スーパーグローバル大学創成支援事業に示した学習成果の測定を含め、本学学生の学習時間、学習行動を調査するため「大学における学びに関するアンケート」を実施しました。

イ IRデータベースの整備・試行

本学における教育研究活動等の各種情報を、全学的に統合されたデータベースに蓄積・共有し、統計レポートとして学部等に提供及び報告を行うIR活動の推進により、大学及び学部等の政策立案業務、内部質保証活動等を支援することを目的に「明治大学IR運営委員会」を設置しました。

I R運営委員会では、I Rデータベースの開発を進め、同データベースから作成した統計レポート集である「I Rデータカタログ」を発行し、同カタログをもとに学部等へ各種統計レポートの提供を試行しました。

3 教育関連活動

(1) 学部・大学院の整備等

ア 経営学部入学定員及び収容定員の変更

2015年度から、経営学部の入学定員及び収容定員を次のとおり変更しました。

学部	学科	入学定員	収容定員
経営学部	経営学科	380名→400名	1,520名→1,600名
	会計学科	170名→150名	680名→600名
	公共経営学科	100名(変更なし)	400名(変更なし)
	計	650名(変更なし)	2,600名(変更なし)

イ 学部・大学院教育の進展整備

学部・大学院の設置以降、完成年度まで引き続き教育環境の整備を行っています。

(ア) 総合数理学部現象数理学科、先端メディアサイエンス学科、ネットワークデザイン学科(完成年度2016年度)

(イ) 大学院国際日本学研究科国際日本学専攻(博士後期課程)(完成年度2016年度)

(ウ) 大学院グローバル・ガバナンス研究科(博士後期課程)(完成年度2016年度)

ウ 学部、大学院の開設等準備

開設等に向けて必要な準備を行いました。

(ア) 大学院理工学研究科建築・都市学専攻、情報科学専攻、数学専攻及び物理学専攻の設置並びに同研究科建築学専攻、基礎理工学専攻及び新領域創造専攻の廃止

(イ) 大学院先端数理科学研究科先端メディアサイエンス専攻及びネットワークデザイン専攻の設置

(ウ) スポーツ科学部(仮称)の設置

(2) 大学院の強化と充実

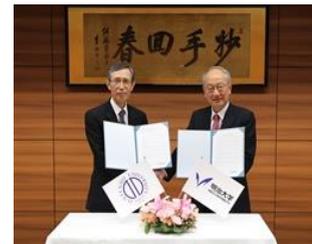
大学院では2015年度から、広く研究活動に関わる者を対象として、不正行為の事前防止のための研究倫理教育を行うため、大学院生全員に「CIT I Japan プロジェクト」が提供する研究倫理教育プログラムの受講を義務付けました。

法科大学院では、2014年に策定された「司法試験制度における本学の現状に対応したアクションプラン」に基づき、司法試験合格者率の向上に取り組みました。また、本学元教員による司法試験問題漏えいを深く反省するとともに、原因究明及び再発防止策を策定しました。責任の所在を明確にし、再発防止策を確実に実施することにより、本学に対する社会の信頼の回復に努めています。

専門職大学院のうち会計専門職研究科では、オンライン講座提供サイト「gacco」(JMOC[日本オープンオンライン教育推進協議会]公認プラットフォーム)において、8月に4週間にわたり「会計プロフェッショナル入門」を開講しました(オンライン受講はすべて無料)。

(3) 大学間連携による教育の充実～順天堂大学と包括協定を締結

本学と順天堂大学は、教育・研究活動の交流と連携の推進を目的とした大学間交流に関する「包括協定」を12月に締結しました。医学部を有する順天堂大学と文理に亘る多様な学部を有する総合大学である本学が、互いの特長を活かして、医療などの分野で社会に貢献することを目指します。



(4) 教育・研究の中核機関～図書館

ア 4キャンパスの図書館

本学の教育・研究支援の中核機関であるとともに、生涯学習時代における社会貢献の拠点として活動を行っています。

2012年5月に新たに開館した和泉図書館は、2015年11月には来場者が延べ300万人を突破しました。さらに、日本建築業連合会の第56回「BCS賞」を受賞しました。

※ <http://www.lib.meiji.ac.jp/>

イ マンガ図書館

マンガ、アニメ等の資料を収集し、これを公開することを目的として設置し、米沢嘉博記念図書館（東京都千代田区猿樂町）及び現代マンガ図書館（東京都新宿区鶴巻町）をもって構成されています。2015年度も広く社会に公開（有料）するとともに、企画展やトークイベントなどを開催しました。

(ア) 赤塚不二夫生誕80周年「赤塚キャラ誕生のひみつ展」

(イ) 「江口寿史展 KING OF POP Side B」

(ウ) 「マンガと戦争展 6つの視点と3人の原画から+α」

※ http://www.meiji.ac.jp/manga/yonezawa_lib/index.html

(5) 観て学ぼう～博物館・資料館

ア 博物館

本学の教育・研究成果を社会に還元する学内共同利用機関として、学内外の諸機関等と連携した展覧会、公開講座等多彩な教育・普及活動を展開しており、年間来館者は7万人を超えています。

2015年度は、展示会「絵図にあらわれる村の景観と生活」、「漆と塩～縄文時代の資源利用と社会～」等を開催しました。

その他、常設展示室の改修を実施するとともに、博物館機能の拡充・強化の一環として、「ICTミュージアム（仮）」の実現に向けてそのデジタル・コンテンツの充実・強化に取り組みました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/museum/index.html>

イ 平和教育登戸研究所資料館

登戸研究所の研究施設であった建物の保存・活用を目的として設立された「平和教育登戸研究所資料館」は、登戸研究所という機関の行ったことがらを記録にとどめるとともに、本学における歴史教育・平和教育・科学教育の発信地を成し、平和に関する啓発と教育の推進を行いました。2015年度は企画展を開催したほか、関連して講演会等のイベントを実施しました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/noborito/index.html>

(6) 付属校との連携

付属校である明治高等学校との高大連携事業について見直した結果、生徒の志望学部選択にかかる早期の支援を図ることを目的に、「高大連携講座」を現在の3年次の設置から、志望学部決定前の2年次に早めることとし、校則の一部改正を行いました。

(7) 「明治大学E L M」開設

医事法と生命倫理に関する国内外の新旧さまざまな資料を専門に扱う資料館「明治大学E L M (エルム)」が4月に開館しました。これを記念し、6月に記念講演会・記念シンポジウムが開催されました。

(8) 教育開発・支援センターの取り組み～新任教員研修

本学の沿革や教育理念、教育の心構えなどについての理解を促し、教員自身の自己啓発意識を高めることを目的に、今年度採用された教員を対象とした「新任教員研修会」を開催しました。大学入試や就職支援状況等について詳細に説明するとともに、「心の病を抱えた学生の理解と対応」をテーマに人権講演会も行われました。

4 研究関連活動

学長を機構長とする研究・知財戦略機構（以下「機構」という。）は、本学における研究活動を統括し、世界のトップユニバーシティを目指し、世界的水準の研究を推進するため、その重点領域を定めて研究拠点の育成を図り、研究の国際化を推進するとともに、その成果を広く社会に還元することを目的としています。

2015年度においても機構の下に設置されている研究政策の企画・立案から実施を担う「研究企画推進本部」及び産官学連携活動を推進する「研究活用知財本部」を両翼とし、さらに附属研究機関・附属研究施設等において研究活動を推進しました。

各研究機関等における2015年度の主な研究活動は次のとおりです。

(1) 競争的研究資金の獲得

獲得した主な学外の競争的研究資金は次のとおりです。加えて、研究所研究費、大学院研究科共同研究、新領域創成型研究・若手研究、国際共同研究等があり、研究活動の推進・活性化を図っています。

※ <https://www.meiji.ac.jp/research/promote/present.html>

ア 2015年度「科学研究費助成事業」

本件の採択件数は新規と継続分をあわせて310件、金額は約6億7,700万円でした（年度中の転入者を含み、転出者を除く）。

文部科学省が発表した「平成27年度科学研究費助成事業の配分について」のランキングによると、本学は、新規と継続を合わせた採択件数では全国約1,300の研究機関のうち第54位、採択額では全国56位となりました。

また、「細目別採択件数上位10機関（過去5年の新規採択の累計数）」では、本学は16分野でランクインしました。「考古学」、「商学」及び「数学基礎・応用数学」の分野では全国第5位、「文化財科学・博物館学」、「ヨーロッパ史・アメリカ史」、「数学基礎・応用数学」及び「農業経済学」の分野では私立大学で1位を獲得しました。

イ 文部科学省 2015 年度「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業（大型研究）」

この事業は、私立大学が経営戦略に基づいて行う最先端研究や地域に根差した研究などを支援する事業です。本学からは1件、約1億円が採択されました。

(2) 各インスティテュート、研究センターの活動

ア 数理学の国際拠点～先端数理学インスティテュート（MIMS）

MIMSは、社会との関わりを重視した数理学の発展・普及を図ることを目的に社会と自然に係る現象の数理科学的解析を課題とする国際的研究拠点です。

2015年度は、日仏韓台の著名な研究機関との数理分野に関する共同研究を推進するための国際研究ネットワーク（GDR I）を設立しました。4年間にわたって、4カ国の研究機関で「生物と数理の融合研究プロジェクト」を推進します。

※ <http://www.mims.meiji.ac.jp/>

イ クローンブタで医療に貢献～バイオリソース研究国際インスティテュート（MUIIBR）

MUIIBRは、機構附属研究機関（特別推進研究インスティテュート）として設立され、農学、特に Animal Biotechnology を基盤に、次世代の医療技術開発に貢献する生物資源の創出・維持・活用を行うことを目的とした国際的研究拠点です。

2015年度も、ヒトとの様々な類似性を持ったブタをプラットフォームとしたトランスレーショナルリサーチにより、未来の医療を実現化する研究開発を推進しました。

※ <http://muiibr.com/>

ウ 世界平和と人類の福祉への貢献を目指して～国際総合研究所（MIGA）

MIGAは、国際的な諸問題を研究課題とし、その解決策を探求及び立案することにより、国際社会に対して政策を提言していく国際的研究拠点です。シンポジウム「日米中ASEANは今何をすべきかーアジア太平洋地域の平和と発展に向けてー」の開催や多数のコラムの発行など、精力的に活動を行いました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/miga/index.html>

エ 黒曜石研究センター

日本で唯一の黒曜石と人類史に関する研究施設である黒曜石研究センター（長野県小県郡長和町）は、機構の附属研究施設として「ヒトー資源環境系」という概念の下に、各種研究プロジェクトを立ち上げ、黒曜石を含む多様な資源に対する人類の働きかけのダイナミズムに関する研究を推進しています。12月には講演会「気候変動に人類はどう適応したか？ーヒトー資源環境系の人類誌ー」を開催しました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/cols/index.html>

オ 植物工場基盤技術研究センター

経済産業省の平成21年度先進的植物工場施設設備費補助金事業の補助金を受けて設立されたもので、植物工場に関する研究開発・人材育成の全国8拠点の一つです（私立大学では本学のみ）。11月には「第11回アグリビジネスフォーラム」に出展し、研究成果を紹介しました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/plant/index.html>

カ 地域産学連携研究センター（生田連携センター）

本センターは、本学が有する技術シーズ・知的資産を有効活用し、川崎市をはじめとする神奈川県における新技術・新事業の創出、地域中小企業を育成する産学連携促進事業の実施、起業・経営セミナー等の開催、地域中小企業者・住民への施設の貸出し等の地域連携交流を促進することを目的としています。

2015年度も、積極的に経営支援セミナーや補助金申請書作成セミナーを開催しました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/cii/index.html>

(3) 「鳥取メタンハイドレートコアセンター」が開設

新たなエネルギー資源として注目されるメタンハイドレートの研究促進や本学と鳥取県・鳥取大学との連携推進を目的とする「明治大学鳥取メタンハイドレートコアセンター」が、鳥取市の鳥取港湾事務所内に9月に開設されました。日本海沖の調査で採取される海底地質試料（コアサンプル）を大量に冷蔵保存できる施設となっており、メタンハイドレートの資源量評価や学術的調査研究を進めています。



(4) 世界知的所有権機構（WIPO）と協力協定を締結

本学と世界知的所有権機関（World Intellectual Property Organization, WIPO）は、知的財産法等に関するデータベース（WIPO Lex）の充実に向け、協力協定を締結しました。世界知的所有権機関とこの分野に関する協力協定を締結したのは、我が国初となります。今後は、WIPO Lex の充実に向けた取組を進めていくとともに、本学学生も含めた人的交流を図り、人材育成を図っていきます。

(5) 「iPS細胞と医農工連携：あたらしい医療を考える」を開催

本学と京都大学iPS細胞研究所（CiRA）が7月に共同でシンポジウムを開催しました。医学研究用の遺伝子改変ブタの開発で世界をリードする長嶋比呂志農学部教授（明治大学バイオリソース研究国際インスティテュート＝MUIIBR所長）や、ノーベル生理学・医学賞を受賞した山中伸弥教授（CiRA所長）らが、医・農・工学それぞれの観点から、未来の医療を語りました。

(6) 世界に向けた研究発信

ア 再生腎臓からの尿排泄に成功

東京慈恵会医科大学医学部腎臓高血圧内科の横尾隆教授、明治大学農学部の長嶋比呂志教授、慶應義塾大学医学部の小林英司特任教授、北里大学獣医学部の岩井聡美講師らの研究グループは、クローカ移植と尿管吻合術を組み合わせた方法を用いることで、ラット及びクローンブタ体内で再生腎臓の尿排泄路の構築に成功しました。再生腎臓の尿排泄路が構築されたことから、再生腎臓の発育継続が可能となり、腎臓再生医療のヒト臨床応用に大きく寄与することが期待されます。本研究成果は、米国アカデミー紀要（PNAS）電子版にて発表されました。

イ ガスハイドレート研究所の活動

2015年度は、産業技術総合研究所（資源エネルギー庁）からの受託研究として、表層型メタンハイドレートの存在の可能性のある特異的な構造（ガストムニー

構造)の内部におけるメタンハイドレートの様子をより詳しく把握するため、隠岐周辺及び上越沖に存在する3箇所のガスチムニー構造において、合計約30箇所の掘削調査を行いました。また、隠岐周辺、上越沖、秋田・山形沖、日高沖及び北海道周辺の調査海域においても昨年に引き続き広域地質調査及び詳細地質調査等を実施しました。

※ <http://www.kisc.meiji.ac.jp/~hydrate/>

ウ 体内時計老化の正体を発見

農学部生命学科動物生理学研究室の中村孝博専任講師らの研究グループが、加齢に伴う睡眠-覚醒リズムなどの体内時計機能低下の原因を突き止めました。齢を重ねるとともに脳内の概日リズムを生み出す約2万個の神経細胞がバラバラに時を刻むようになることを発見。昼と夜でメリハリのついた光環境が、体内時計機能の加齢変化を細胞レベルで抑えることがわかりました。

エ 国際武器移転史研究所(研究クラスター)

2015年度に設立された「国際武器移転史研究所」は、総合的な歴史研究を通じて、軍縮と軍備管理を阻む近現代世界の構造を明らかにすることを目的に掲げています。11月に設立記念シンポジウム「軍備管理と軍事同盟のくいまを問う」を、第2回シンポジウム「航空機の軍民転用と国際移転」を1月に開催しました。同研究所の研究プロジェクト「軍縮・軍備管理と武器移転・技術移転に関する総合的歴史研究」は、文部科学省の2015年度「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」(大型研究)に採択されました。

(7) 研究活動の適正化に向けた研究不正防止体制の整備

文部科学省の「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン(実施基準)」、「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」を踏まえ、「研究費の適正管理に関する規程」、「研究活動の不正行為にかかわる通報処理に関する規程」等を改正・整備しました。

また、研究不正通報等の受付窓口を法律事務所に委託するとともに、防止計画推進部署として駿河台キャンパスに「研究倫理オフィス」を開設しました。

5 国際化の推進

2015年度も、世界に羽ばたき、社会と世界をリードする人材教育の実現を目指して、国際化に関する取り組みを積極的に推進しました。

(1) 「スーパーグローバル大学創成支援」事業(SGU)

2014年に、文部科学省スーパーグローバル大学等事業「スーパーグローバル大学創成支援」のタイプB「グローバル化牽引型」に、本学の取り組み「世界へ! MEIJI8000 -学生の主体的学びを育み、未来開拓力に優れた人材を育成-」が採択されました。学生の主体的な学びを育み未来開拓力に優れた人材を育成し、「主体的に学び、考え、行動し、多様な価値観の中で、新たな未来を切り拓くグローバル人材(卒業生毎年8,000人)」を世界に送り出していくために、2015年度も積極的に事業を推進しました。

特に、「全学に占める外国人留学生の割合増(受け入れ)」、「日本人学生に占める単

位取得を伴う留学経験者の割合増（送り出し）」、「学生の語学レベルの測定・把握，向上のための取り組み，外国語力基準を満たす学生数増」，「柔軟な学事暦の構築」，「新たな海外拠点の開拓」，「協定校の拡充と実質化」，「戦略的協定校の選定」，「シラバス英語化のシステム構築」等に優先的に取り組みました。

柔軟な学事暦の構築については，2017年度から新たな授業時間割や2学期4ターム制を全学一斉に導入することを決定しました。

(2) 文部科学省による大学教育改革の支援プログラム

文部科学省「国公立大学を通じた大学教育改革の支援」のプログラムに採択された3件の取り組みについて，引き続き2015年度も事業を展開しました。

ア 大学間連携共同教育推進事業（明治大学・立教大学・国際大学による共同申請） （国際協力人材育成プログラム）

※ <http://www.hric.jp/>

（ア）立教大学及び国際大学との共同授業科目の展開

（イ）国連創設70周年記念セミナーシリーズ「いま，日本から国連を考える」開催（計6回）

イ 大学の世界展開力強化事業－ASEAN諸国等との大学間交流形成支援（日本ASEANリテラシーを重視した実務型リーダープログラム）

※ <http://www.meiji.ac.jp/cip/aseancenter/>

（ア）ASEAN地域との短期学生交流プログラムの実施

（イ）タイの学生向け遠隔授業の実施

ウ 経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援事業（タイプB：特色型）（政治経済学部留学促進プログラム）

※ <http://meiji-seikei-ghrd.com/>

（ア）実践的英語力強化プログラムの実施

（イ）留学フェアの開催

(3) 協定校・協定機関の拡充

海外の大学等との協力・協定については，2015年度も積極的に新たな協定を締結し，2015年度までの協定校・協定機関数は，学部間等協定も含め，47カ国・地域，307大学・機関・部局等となりました。

(4) 外国人留学生の受け入れ・学生の海外送り出し強化

2015年度は1,733名（学部：981名，大学院：453名，短期プログラム：299名）の外国人留学生を受け入れるとともに，海外送り出し留学生数は1,252名（長期：308名，短期：944名）となりました。

優秀な留学生を獲得するために，入口から出口までの一貫した支援政策に基づき，Web出願，日本語eラーニングにおけるコンテンツの充実，戦略的広報のためのWebページの活用，留学生にとって魅力あるカリキュラムの整備，就職支援プログラムなどを展開しました。

海外留学をめざしている学生には，留学カウンセリング，経済的支援，留学説明会・報告会など，多様な支援を実施しました。

(5) 海外拠点

国際連携を積極的に推進するため、海外拠点としてマレーシア事務所、北京事務所及び明治大学アセアンセンター（タイ・バンコク）を設けています。

「明治大学アセアンセンター」は2012年度に採択された文部科学省「大学の世界展開力強化事業－ASEAN諸国等との大学間交流形成支援」事業の「日本ASEANリテラシーを重視した実務型リーダープログラム」の展開拠点として活用されているほか、昨年度に引き続き遠隔授業、短期学生交流プログラムなどを実施しました。

(6) 外国人留学生等交流イベント

ア Cool Japan Summer Program の実施

国際連携機構は、海外在住の大学生・大学院生を対象に、マンガやアニメ、音楽、ファッション、ハイテクノロジー、和食といった日本の「現代文化」や「伝統文化」について、多様な講義やワークショップ、フィールドトリップを通じて学ぶ短期留学プログラム「Cool Japan Summer Program 2015」を実施しました。今年で6回目となる同講座では、世界10カ国・地域から25名の学生が参加し、「オタク文化と秋葉原」、「おもてなし文化」などの講義に加えて、合気道などのワークショップやアニメスタジオ見学などのワークショップも行われました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/cip/english/programs/cooljapan/index.html>

イ 日本語短期研修プログラム（夏期・冬期）の実施

明治大学日本語教育センターは、夏と冬の2回にわたって「日本語短期研修プログラム」を開催しました。本プログラムは、「日本語授業」及び「見学・体験」で構成され、本学の日本人学生がサポーターとして参加者を全面的にバックアップし、「活きた日本語」を使いながら交流を行いました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/cip/english/programs/mjlp/index.html>

ウ Law in Japan Program の実施

法学部は、日本の法と法制度を英語で学ぶ外国人向け夏期短期プログラム「Law in Japan Program」を開催しました。世界10カ国の学生・社会人22名、さらに同学部生4名の計26名が、講義とフィールドトリップで構成されたプログラムを2週間集中的に受講し、日本の法と法制度について学びました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/cip/english/programs/law/index.html>

また、同学部の学部間協定校であるブラジルのサンパウロ大学法学部の学士・修士・博士課程の学生を対象とした「サンパウロ大学法学部短期受け入れプログラム／Law in Japan Program for University of Sao Paulo」も実施し、両大学の学生が交流して相互理解を深めました。

(7) 国際連携機構の充実

国際連携本部、国際教育センター、日本語教育センターからなる国際連携機構は、本学における国際化政策を一元的に推進していく機関であり、国際的な教育交流及び学術・研究交流を推進し、教育・研究分野の高度化を図るとともに、教育・研究を通じて広く国際貢献を果たすことを目的として設置されています。

国際連携本部に設置された国際連携運営会議の活用により、学部等間の連携・調整を図り、有機的かつ実効性のある取り組みを推進しました。

6 社会貢献・連携・共同事業

(1) 震災復興支援

2015年度も、学生ボランティアによる東日本大震災における被災者支援や震災の風化を防ぐことを目的に、震災復興支援センターにおいて様々な支援活動を行いました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/gakucho/reconstruction/index.html>

ア 「新地町明大ボランティア活動拠点」オープン

本学が2012年に「震災復興に関する協定」を締結した3自治体の1つである福島県新地町に、復興支援のための「新地町明大ボランティア活動拠点」をオープンしました。仮設住宅を活用したこの拠点を核にし、年間を通じて、長期にわたる支援活動を展開していくことが可能となりました。

イ ホームカミングデーにおける「震災復興支援プロジェクト」

第18回ホームカミングデーにおいて、芸術展・写真展・被災地復興マルシェ（物産展）など、学生等によるボランティア活動を実施し、本学が取り組んでいる復興支援を紹介しました。

ウ 第3回「東日本大震災の風化を防ぐフォーラム」

震災復興支援センターは、東京YWCAとの共催で、「東日本大震災の風化を防ぐフォーラム～福島県沿岸の町『新地町』の取り組みと首都圏のわたしたちができること～」を駿河台キャンパスで開催しました。地元関係者の講演や、本学学生らの活動報告などを通じ、震災を忘れぬよう呼びかけました。

エ 明大 Week in 新地

福島県新地町において、3回目の「明大 Week in 新地」を実施しました。支援活動は、祭の運営支援、小学校での学習支援、図書館支援、水泳指導サポート活動など多岐にわたり、1週間で延べ280名を超える学生が参加して支援を行いました。

オ 東日本大震災復興支援活動報告会

それぞれの報告を通して活動内容・方法の共有を図り、さらには復興支援にかかわっている学生・院生間の絆を深めることを目的に、「2015年度『東日本大震災復興支援活動報告会』～支援活動を通じて何を学び、何を得たか～」を開催しました。

(2) 社会貢献を進めるために～社会連携機構

本学における教育研究活動を通じた地域連携活動の支援、生涯学習機会の提供等を推進することによって、地域社会の活性化及び社会の発展に寄与することを目的として設置されている機関が社会連携機構です。社会連携機構は、生涯教育の充実を図るリバティアカデミー及び地域連携を推進する地域連携推進センターから構成されています。

ア 生涯学習の拠点～リバティアカデミーの展開

リバティアカデミーは、公開講座を中心とした生涯教育及び資格取得等職業能力の再開発・向上を図るための教育活動の役割を担っています。2015年度も「本学の教育・研究成果」を継続的・体系的な公開教育プログラムとして産業社会や地域社会に提供し、大学の保有する様々な知的資産とその環境を広く市民に開放することを通して「開かれた大学」としての姿を追求してきました。駿河台、和泉、生

田、中野キャンパス及び黒川農場の5拠点で、教養・文化、ビジネス、資格・実務、語学、特別企画、オープン講座等、年間452講座を開設し、受講者数は1万8千名を超えました。

※ <https://academy.meiji.jp/>

イ 地域連携推進センターの展開

地域連携推進センターは、本学が国・地方公共団体、産業界、地域住民等からの幅広い要請に応え、地域社会と連携して地域人材の育成や地域課題の解決を図ることにより、本学における教育研究の発展と地域社会への貢献に寄与することを目的としています。創立者出身地3地域（鳥取県、山形県天童市、福井県鯖江市）やキャンパス設置自治体をはじめ、様々な自治体等と連携して公開講座を開催するなど、地域活性化のための連携事業を展開しました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/social/japan/chiikirenkei.html>

(ア) 世田谷区と包括協定を締結

本学は、和泉キャンパス（杉並区永福）の最寄り駅「明大前」がある世田谷区と、これまで案件ごとに行われていた連携をさらに推進・発展させることを目的として、連携・協力包括協定を締結しました。①人的交流の促進、②知的・物的資源の相互活用、③調査研究や事業の共同実施等について協力を深め、地域社会の発展と人材育成への寄与を目指します。



(イ) 群馬県富岡市と基本協定を締結

本学は、群馬県富岡市との間に「相互協力に関する基本協定」を締結しました。世界遺産の富岡製糸場で企画展を開催するほか、富岡市関係者が本学のリバティアカデミーの講師を務めるなど、連携を強めています。



ウ 学生参加の社会連携活動

(ア) 学生派遣プログラムの実施

社会連携機構は、創立者3名の出身地・地域及び長野県野沢温泉村にて、地域の人々と交流・連携しながら、地域活性化の提言を行う課題解決型学生派遣プログラムを実施しました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/social/6t5h7p00000fa9fm.html>

(イ) 第9回お茶の水JAZZ祭の開催

音楽の街・御茶ノ水の秋を彩る「お茶の水JAZZ祭」は第9回を迎え、音楽を通じた千代田区地域連携活動の柱として地域に定着しています。本学校友の宇崎竜童氏（音楽家）・阿木耀子氏（作詞家）夫妻が毎回総合プロデューサーと総合司会をつとめています。名だたるアーティストたちが奏でるサウンドを、満員の来場者が堪能しました。当日の運営は宇崎氏を道場主とする「明大町づくり道場」の学生約30人が担いました。

※ <http://www.jazzsai.com/>

(3) 「女性のためのスマートキャリアプログラム」スタート

本学初の履修証明プログラム「女性のためのスマートプログラム」がスタートしました。文部科学省が推奨するこの「履修証明制度」は、大学が人材養成の目的に応じた必要な科目を編成し、体系的な教育プログラムを構築することで、主として社会人向けに他分野の学習機会を提供するものです。本プログラムは「リバティアカデミー」において、女性の仕事復帰や社会での新たな活躍を支援するビジネスプログラムとして開設されました。なお、本プログラムは文部科学省の「職業実践力育成プログラム」(BP)に認定されています。

※ <https://academy.meiji.jp/smartcareer/>

(4) 環境保全への取り組みと環境教育

2015年度も、環境保全にかかわる教育活動の一環として、教職員・学生へ環境問題・環境保全にかかわる情報とともに、本学の環境保全活動を紹介し、環境保全についての関心を高めるため、「ECO ACT MEIJI 明治大学環境展」を4キャンパスで開催しました。パネル展示、資料配布、学内エコツアー(リバティタワー内の環境配慮施設見学会)などを実施し、地球温暖化、エネルギーなど、私たちを取り巻く環境問題や、本学の環境保全への取り組みについてわかりやすく解説しました。

7 国家試験指導体制及び国家試験対策の指導強化・充実

本学では国家試験指導センター(法制研究所、経理研究所、行政研究所)を設置して資格取得及び職業能力の向上を志す本学学生及び卒業生を支援し、社会に有用な人材を育成しています。

また、学校法人明治大学法務研究所では、本学卒業生の組織である明治大学法曹会の全面協力のもと、本学法科大学院修了生の司法試験合格を支援するために、受験指導を実施しました。

2015年度の各試験の合格者数は、司法試験53名、国家公務員総合職試験22名、公認会計士試験64名と、大学別合格者数では上位にランクされました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/netsc/index.html>

8 入学試験関連

(1) 2016年度入学試験志願状況

一般入学試験の志願者数は、一般選抜入学試験60,374人、全学部統一入学試験17,956人及び大学入学センター試験利用入学試験30,170人の合計108,500人となり、10年連続で10万人を超えました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/exam/index.html>

(2) Web 出願スタート

2016年度入試から一般入試(一般選抜入試・全学部統一入試・大学入試センター利用入試)すべてにおいて、Web出願になりました。

(3) イベント関係等

ア オープンキャンパス2015

受験生等に向けてキャンパスを開放し、大学生活の一端を体験してもらう「オープンキャンパス」を、駿河台・生田・中野の3キャンパスで8月に計7日間開催し、

過去最高となる計5万9,245人が本学を訪れました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/exam/event/opencampus/index.html>

イ 出張オープンキャンパス～明治大学フェスタ！の開催

2015年度も全国6都市（札幌・仙台・名古屋・大阪・広島・福岡）において、出張オープンキャンパス「明治大学フェスタ！」を開催し、入試説明会のほか、地元出身の現役明大生による相談コーナー等を設け、本学の魅力を伝えました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/exam/event/festa/index.html>

(4) 「志願したい大学」7年連続1位に

リクルート進学総研が7月に発表した「進学ブランド力調査2015」で、本学が関東エリアの「志願したい大学」で7年連続1位を獲得しました。さらに、属性別の内訳でも「男子」が7年連続1位、「女子」が3年連続1位、「理系」が4年連続1位となりました。

(5) 新たな入学試験の導入

2017年度入学試験から、一般選抜入試において経営学部では英語4技能試験活用方式を導入することを決定しました。また、特別入試では、商学部が公募制特別入試（大学入試センター試験利用特別入試）において、TOEFL iBTを利用した募集枠を設定、政治経済学部がグローバル型特別入試を新規導入、国際日本学部がイングリッシュ・トラック入試の出願資格を日本国籍者にも拡大することを決定しました。

9 卒業・修了の状況

本学は、130年を超える歴史と伝統の中で、創立以来53万人を超える卒業生を輩出してきました。

2015年度は、各学部の卒業生6,576名（うち9月卒業172名）、大学院の修了生は博士前期課程672名（うち9月卒業8名）、博士後期課程50名（うち9月卒業2名）、専門職学位課程226名（うち9月卒業59名）、高等学校・中学校の卒業生449名（高等学校280名、中学校169名）となりました。

10 学生支援

(1) 奨学金の充実

将来の有為な人材として期待される学生が修学に専念できる教育環境を整えるため、奨学金制度に基づき、給費奨学金・貸費奨学金等各種奨学事業を実施しました。

また、災害に対する奨学金として、台風第18号の被災者への給費型奨学金による経済支援（明治大学災害時特別給費奨学金）を実施しました。

(2) ボランティアセンター（VC）

4キャンパスに設置されているボランティアセンターは、本学の学生に対するボランティア活動の支援を全学的に推進することにより、学生の社会性及び自主性を涵養して、社会に有用な人材を育成することを目的としています。

駿河台キャンパスでは「防災」、和泉キャンパスでは「福祉」、生田キャンパスでは「サイエンス」、中野キャンパスでは「社会連携」をそれぞれテーマとし、学内・学外での活動、地域との交流、復興支援など、特色ある活動を展開しました。

- ア 災害救援ボランティア講座（駿河台VC）
- イ バリアフリー映画祭（和泉VC）
- ウ 子ども向けワークショップ「科学教室サマープログラム」（生田VC）
- エ 中野キャンパス清掃活動ボランティア（中野VC）
- ※ <http://www.meiji.ac.jp/campus/volunteer/index.html>

(3) 学生相談室の活動

相談内容の約3分の2が精神衛生に関わるものであるとともに、SNSのトラブルに関する相談など社会情勢の変化を反映して相談内容も多様化・複雑化していることから、学生相談機能の拡充を図っています。また、心身の健康維持と予防に関わる行事も開催しました。

- ア 息抜きストレッチ&指圧
- イ 絵本と音楽の恋ものがたり～絵本の読み聞かせと音楽のコラボレーション～
- ウ Yoga 体験！～ココロとカラダを整えよう～
- ※ <http://www.meiji.ac.jp/soudan/index.html>

(4) M-N a v i プログラム (Meiji Navigation Program) の推進

学部や学科で学び身に付けていく「基礎学力」や「専門知識」に加えて、それらを上手に活用していくための「力」（社会人基礎力）を身につけるためのナビゲーターとしての役割を果たす学生支援プログラムの一つです。

2015年度は、「新入生M-N a v i 合宿」、「神宮へ行こう（東京六大学野球観戦）」、「日本文化体験～いけばな～」、「京劇を見に行こう」、「農業体験」、「発言力プログラム～自分をさらけだせ！～」等のプログラムを実施しました。

- ※ <http://www.meiji.ac.jp/campus/mnp/6t5h7p00000hfuo7.html>

(5) 観る人に感動を～スポーツ関係

ア ラグビー部

12月6日、秩父宮ラグビー場で行われた関東大学ラグビー対抗戦の最終戦において早稲田大に32-24で勝利。今シーズンの成績を6勝1敗とし、3年ぶりの優勝を帝京大と同率で果たしました。



イ 硬式野球部

- (ア) 高山俊外野手（文4）が東京六大学野球新記録となる131安打を達成しました。
- (イ) 春季リーグ戦4位，秋季リーグ戦2位
- (ウ) 高山俊外野手（文4）が阪神タイガースから，上原健太投手（商4）が北海道日本ハムファイターズからそれぞれ1位指名を，坂本誠志郎捕手（文4）が阪神タイガースから2位指名を受けました。また，OBからも2名が指名されました。

ウ 競走部（駅伝）

出雲駅伝8位，全日本大学駅伝6位，箱根駅伝14位

エ 輝かしい活躍

- (ア) 拳法部 全日本学生拳法選手権大会 優勝（4連覇）
- (イ) サッカー部 室屋成選手（政経3）＜サッカーU-23（23歳以下）日本代表で，リオデジャネイロ五輪アジア最終予選を兼ねた「AFC U-23選

手権2016」に唯一の大学生として出場し、優勝に貢献したが、Jリーグ・FC東京（J1）に加入しました。サッカー部を退部し、現役大学生Jリーガーとしてプレーしています。

- (ウ) 柔道部 小川雄勢選手（政経1） 第34回全日本学生体重別選手権・男子100キロ超級で優勝（1年生で学生王者）
- (エ) 水泳部 第91回日本学生選手権水泳競技大会 男子総合優勝（86年ぶり3度目）
- (オ) スケート部（フィギュア部門） 西野友毬選手（政経4） 第88回日本学生氷上競技選手権で、前人未到のインカレ4連覇
- (カ) 卓球部 森蘭政崇選手（政経2） 第82回全日本大学総合選手権（個人の部）優勝（本学から6人がベスト16入り）
- (キ) 体同連（体育同好会連合会）女子ラクロス部 2年連続3冠達成（ラクロス全日本選手権大会、大学選手権、関東学生リーグ戦の3大会すべて優勝）
- (ク) 明大スポーツ新聞部 第5回大学新聞コンテスト スポーツ新聞部門 最優秀賞（3年連続）

(6) 就職・キャリア形成をバックアップ

ア 就職キャリア支援センター

本学の学生に対する就職支援及びキャリア形成支援を推進することにより、学生の職業観及び職業に関する知識・技能を涵養して主体的に進路を選択できる能力の育成を図り、社会に有用な人材を輩出することを目的としています。

2015年度も「就職・進路ガイダンス」、「エントリーシート対策講座」、「就職活動体験報告会」、「各種業界研究会」等を実施しました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/shushoku/index.html>

(ア)「企業と大学との就職懇談会」の開催

駿河台キャンパスのアカデミーコモンにおいて、理事長、学長をはじめとする大学役員・役職者、各学部・大学院の就職担当教員が企業の採用担当者と情報交換を行う「企業と大学との就職懇談会」を10月に開催しました。企業側からは475社の採用担当者が出席しました。

本学学生の就職と企業の採用活動に役立てるために、本学の教育・研究内容や就職支援の取り組み、企業側の採用状況などについて意見や情報を交わし、企業との連携を深めました。

(イ) 200を超える多様なセミナー等の開催

a グローバルニッチトップ企業セミナー～キラリと光る優良企業に出会う～
大手企業や知名度で企業選択をすることに偏りがちな学生に対し、視野を広げ、学生と企業の的確なマッチングを行うための取り組みの一つとして実施しました。

b 企業採用担当者による模擬面接会

面接官役となるのはメーカー、商社、金融、ITなど様々な分野36社の採用担当者です。学生たちは約50分間、グループ面接形式の模擬面接や面接内容についてのフィードバックを受けました。3日間で約600人の本学

学生が参加しました。

イ 大学院「キャリアサポートプログラム」

2015年度も大学院生に特化した「キャリアサポートプログラム」において、研究職を志望する大学院生への支援（研究職支援）と、特に博士前期・修士課程院生に対する民間企業や公務員採用試験などの就職活動に対する支援（非研究職支援）に大別し、企画を実施しました。説明会、相談会のほか、研究資金獲得セミナーやプレゼンテーションセミナーなどを開催しました。

※ http://www.meiji.ac.jp/dai_in/career/index.html

ウ 留学生への就職サポート

日本国内で就職を希望する留学生に特化した就職支援を手厚く行っています。2015年度も、日本での就職活動の基本的な進め方を指導する「就職・進路ガイダンス」をはじめ、「ビジネス日本語講座」、「筆記試験対策講座」、「エントリーシート対策講座」、「OB・OG及び内定者との交流会」などを開催しました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/shushoku/ryuugakusei.html>

1.1 教育研究環境の整備

本学のより一層の発展に寄与するため、教育研究環境の整備等を行いました。

(1) 教育研究施設計画

各キャンパスからの要望や本学の財政状況等を踏まえ、今後10年間を見据えた大学全体の施設建設計画に係る優先順位を策定しました。今後はこの計画に基づき、教育施設、研究施設、学生環境の整備を推進します。あわせて、安全かつ高度な教育研究環境を守るため、既存施設の修繕、改修を適切に実施していきます。

(2) 施設設備整備

支出削減と利用者の利便性の向上に資するため、学外に賃借していた2件の施設を契約解除の上、学内施設に取り込みました。

1.2 学校法人の管理・運営

(1) 法人の運営に関する制度改革

評議員会に設置された制度改革に係る臨時委員会（制度改革検討委員会）における検討結果を受け、学校法人明治大学寄附行為の一部改正を実施しました。

主な変更点は次のとおりです。

ア 評議員「74人」を「88人」に変更する。

イ 職務上の評議員及び教職員のうちから選任される評議員「27人」を「34人」に、校友のうちから選任される評議員「27人」を「34人」に改め、職務上の評議員に「法科大学院長」及び「専門職大学院長」を加える。

ウ 議決事項に係る規定中「規則（別表を除く。）の制定改廃」を「規則（別表を除く。）の制定、廃止及び重要な改正」に改める。

エ 法人に置く理事の人数「12人」を「11人又は12人」に変更する。

(2) 男女共同参画の推進

ア 男女共同参画推進センター、女性研究者研究活動支援事業推本部を設置

2014年度に文部科学省の「女性研究者研究活動支援事業（一般型）」に採択されたことを受け、学内に「男女共同参画推進センター」を設置し、そのもとに「女性研究者研究活動支援事業推本部」が発足しました。駿河台キャンパスにセンターと本部、生田キャンパスに本部の分室を置き、教職員・学生らすべての構成員を対象に、男女共同参画の一層の推進を図っています。

※ <http://www.meiji.ac.jp/koho/diversity/>

※ <http://muged.meiji.jp/>

イ 国際シンポジウム「学術分野の男女共同参画と多様性」の開催

男女共同参画推進センター女性研究者研究活動支援事業推本部、情報コミュニケーション学部ジェンダーセンター、法科大学院ジェンダー法センターの3つの組織の共催で、学術分野における男女共同参画をテーマに国際シンポジウムを開催しました。2日間にわたるシンポジウムでは、国内外の主に女性研究者を中心として、アカデミックな領域での多様な男女共同参画のあり方が語られ、討論されました。



(3) 防火・防災・危機管理体制関連

大規模災害の発生等を想定し、学生用・教員用・職員用といったカテゴリーごとの災害発生時対応マニュアルに基づき、駿河台・和泉・生田・中野の各キャンパス、黒川農場及び明治高等学校・中学校において防災訓練等を実施しました。

(4) 大学職員の国際化

SGUの採択を受け、ますます必要とされる本学の国際化を担う人材を育成するため、約10日間、職員を海外（米国カリフォルニア大学デービス校）に派遣し、現地で米国大学の先端的な取り組みを学ぶ研修を実施しました。プログラムはすべて英語で実施し、リサーチ結果を、現地スタッフを前に英語でプレゼンテーション発表したほか、帰国後には大学の経営陣（理事長、理事）らに対し、研修成果の報告と本学の運営に関する提言を行いました。

(5) 事務組織の検討

本法人の事務組織が抱える課題の整理、解決策、事務組織の在り方等について、総合的な観点から検討を行い、事務組織のあるべき姿に関する提言を取りまとめました。今後も本提案の具体化に向けて検証し、推進していきます。

1.3 付属高等学校・中学校

(1) 国際教育の推進及び特色ある教育の実現

ア 海外語学研修の実施

2015年度も休みを利用した海外語学研修を夏・春の2回実施しました。

(ア) 夏期海外語学研修

カナダ・バンクーバーのブリティッシュ・コロンビア大学（UBC）キャンパスを拠点に開催された、現地ボドウェル高校主催のプログラムに参加しました。中学生2名、高校生43名の合計45名が、2週間コース（UBC+スクワ

ミッシュ・ウィスラー) または、3週間コース(UBC+ビクトリア)に参加しました。

(イ) 春期海外語学研修

オーストラリアのサンシャインコーストにて実施され、中学3年生から高校2年生の計20名が参加しました。自然豊かな環境の中、参加生徒は10日間を通してホームステイの上、午前中は語学学校で授業、午後は各種アクティビティを体験しました。また、現地の学校訪問を行い、生徒達と交流しました。

イ 「スピーチコンテスト」「イングリッシュ・プレゼンテーション」を開催

2015年度も、英語による「スピーチコンテスト」及びパワーポイントを使った「イングリッシュ・プレゼンテーション」コンテストを開催しました。これらの行事では、英語による発信力強化を図るとともに、入賞者は「鶴澤総明教育振興・奨学金プログラム」奨学金の給付及び海外文化体験プログラム参加費を免除されました。

ウ 明治大学留学生との交流会

明治大学受け入れ留学生と高等学校・中学校の生徒との交流会を開催し、中学1年生の英語の授業への参加や伝統遊びによる交流を通じて、お互いの懇親を深めました。

(2) 高大連携の推進

ア 高大連携講座

高校3年生に対して、志望学部選択や明治大学進学後のスムーズな講義受講に資するよう、明治大学の教員が調布キャンパスで年間を通して各学部の基礎的な内容の授業を実施しました。

イ プレカレッジプログラム

高校在学中(高校2・3年生対象)に明治大学の授業の一部を受講し、修得した単位が、明治大学入学後に学部卒業要件単位として認定される制度を2015年度も実施しました。

ウ サマーセミナー、スプリングセミナー、ウィンターセミナー

明治大学と連携し、資格の取得、英語力の向上、進路決定の参考等の目的で、夏休み、春休み及び高校3年生の最終学期の集中講座として実施しました。「法学検定4級チャレンジ講座」「TOEIC講座」「簿記講座(2級・3級)」「実験講座(化学・物理)」「コンピュータプログラミング講座」なども、明治大学の各キャンパスや本校で実施しました。

※ http://www.meiji.ac.jp/ko_chu/feature/kodai.html

(3) 「卒業生顕彰式」を挙

これは、本校を卒業後、学術・文化・スポーツなどの分野で活躍し、優秀な成果を収めた卒業生を称え、在校生の模範となるよう顕彰するもので、明治大学の学部長奨励賞を受賞した現役明大生や、司法試験・公認会計士試験の合格者など卒業生19名を表彰しました。

以 上

参考資料

(1)海外協定校一覧（2016年3月31日現在）

	国名	協定大学名	学生交流	備考
1	中国	中国人民大学	○	
2		延辺大学	○	
3		華東師範大学	○	
4		清華大学		
5		深圳大学	○	
6		厦門大学	○	
7		上海交通大学	○	
8		中央財経大学	○	
9		雲南農業大学		
10		遼寧大学	○	
11		雲南民族大学		
12		内蒙古工業大学	○	
13		大連外国語大学	○	
14		雲南大学	○	
15		北京大学	○	
16		蘇州大学	○	
17		南京大学	○	
18		中国社会科学院		
19		東華大学		
20		上海对外經貿大学		
21	南京財経大学			
22	中央民族大学	○		
23	大連海事大学			
24	香港中文大学	○		
25	韓国	梨花女子大学	○	
26		高麗大学	○	
27		忠北大学	○	
28		同徳女子大学	○	
29		慶北大学		
30		仁荷大学	○	
31		大邱大学	○	
32		淑明女子大学	○	
33		慶尚大学	○	
34		西江大学	○	
35		延世大学		
36		嶺南大学	○	
37		中央大学		
38		大田大学	○	
39		全北大学		
40		慶熙大学	○	
41		漢陽大学	○	
42		濟州大学	○	
43		崇実大学	○	
44		聖公会大学		
45	韓国外国語大学	○		
46	台湾	国立台湾大学	○	
47		中国文化大学	○	
48		国立虎尾科技大学	○	
49		国立台北大学	○	
50		国立嘉義大学	○	
51		中原大学		
52		国立屏東科技大学		
53		南台科技大学		
54		国立高雄応用科技大学	○	
55	台湾	環球科技大学		
56		淡江大学		
57	国立交通大学			
58	ベトナム	フンラン大学		
59		ハノイ大学	○	
60		ベトナム国家大学ハノイ外国語大学	○	
61		ベトナム国家大学ハノイ人文社会科学大学		
62		ベトナム国家大学ホーチミン市人文社会科学大学		
63	貿易大学(ハノイ)	○		
64	ラオス	ラオス国立大学		
65	マレーシア	マレーシア工科大学	○	
66		マレーシア科学大学	○	
67		マラヤ大学	○	
68		マレーシア・サラワク大学	○	
69		ペトロナス工科大学	○	
70	マレーシア・サバ大学			
71	シンガポール	シンガポール経営大学	○	

	国名	協定大学名	学生交流	備考
72		シーナカリンウィロート大学		
73		泰日工業大学		
74	タイ	チェンマイ大学		
75		チュラロンコン大学		
76		プリンスオブソンクラー大学		
77		モンクット王工科大学ラカバン校	○	
78		バンドン工科大学	○	
79	インドネシア	インドネシア大学		
80		ガジャマダ大学	○	
81		フィリピン大学ディリマン校	○	
82	フィリピン	アテネオ・デ・マニラ大学		
83		デ・ラ・サール大学		
84		インド科学院大学	○	
85		インド統計大学		
86	インド	ゴカレ政治経済研究所		
87		ジャワハルラー・ネルー大学		
88		ジャダプール大学		
89	モンゴル	モンゴル国立大学		
90	バングラデシュ	ダッカ大学		
91		西シドニー大学	○	
92		サンシャインコースト大学		
93		ニューサウスウェールズ大学	○	
94	豪州	南オーストラリア大学		
95		クイーンズランド工科大学	○	
96		アデレード大学	○	
97		マッコーリー大学	○	
98		シドニー工科大学	○	
99	サウジアラビア	アブドゥルアジズ国王大学		
100	トルコ	中東工科大学	○	
101		ボアジチ大学(ボスポラス大学)		
102	タンザニア	ダルエスサラーム大学		
103		シェフィールド大学	○	
104		ケンブリッジ大学ヒューズ・ホール校		
105		ヨーク・セント・ジョン大学		
106		ロンドン大学クイーン・メアリー校		
107	英国	マンチェスター大学 人文科学部	○	
108		バーミンガム大学		
109		ブライトン大学		
110		イースト・アングリア大学	○	
111		イーストロンドン大学		
112		ロンドン大学 アジア・アフリカ研究学院(SOAS)	○	
113		フリードリヒ・シラー大学(イエーナ大学)	○	
114	ドイツ	ツェッペリン大学		
115		ジーゲン大学	○	
116		パッサウ大学	○	
117		ハインリッヒ・ハイネ大学(デュッセルドルフ大学)	○	
118		ランス大学	○	
119		パリ第1大学(バンテオン・ソルボンヌ)		
120		パリ第9大学(ドフィーヌ)		
121		トゥールーズ第1キャピトル大学	○	
122		フランス国立東洋言語文化研究学院(INALCO)	○	
123		リヨン第3大学	○	
124	フランス	ヴェルサイユ大学	○	
125		パリ第3大学(ソルボンヌ・ヌーベル)	○	
126		エクス・マルセイユ大学(旧プロヴァンス大学)	○	
127		パリ・デイドロ大学(パリ第7大学)	○	
128		モダール・インターナショナル学院		
129		リヨン政治学院	○	
130		ジョセフ・フーリエ大学		
131		ストラスブール大学	○	
132	オーストリア	ウィーン大学	○	
133	スウェーデン	リンシェーピング大学	○	
134		セーデルトーン大学	○	
135	スイス	チューリッヒ大学	○	
136		シエナ大学	○	
137		ヴェネツィア大学	○	
138	イタリア	ミラノ大学	○	
139		フィレンツェ大学	○	
140		シエナ外国人大学	○	
141		ミラノ工科大学	○	
142		アリカンテ大学		
143		ロビーラ・イ・ビルジリ大学		
144	スペイン	バレンシア大学	○	
145		モンドragon大学		
146		サラマンカ大学	○	
147	ギリシャ	クレタ大学		
148	ベルギー	ルーヴェン・カトリック大学		

	国名	協定大学名	学生交流	備考
149		プレハーノフ経済大学	○	
150		クラスノヤルスク国立教育大学	○	
151		国立経営大学	○	
152		モスクワ国立大学	○	
153	ロシア	サンクトペテルブルク国立経済大学		
154		モスクワ国際関係大学		
155		ロシア国立研究大学高等経済学院		
156		オムスク国立大学		
157		サンクトペテルブルク工科大学	○	
158	ハンガリー	エトヴェシュ・ロラーンド大学	○	
159	ポーランド	ウッジ大学	○	
160		ポズナン経済大学		
161	リトアニア	ヴィータウタス・マグヌス大学		
162		ミーコラス・ロメリス大学	○	
163	ルーマニア	ブカレスト大学	○	
164	ブルガリア	ソフィア大学	○	
165	セルビア	ベオグラード大学	○	
166	ボスニア・ヘルツェゴビナ	サラエボ大学		
167		バニャルカ大学		
168	ノルウェー	リレハンメル大学	○	
169	ウクライナ	キエフ国立大学		
170	オランダ	ライデン大学	○	
171		オレゴン大学	○	
172		アイオワ大学	○	
173		サザンイリノイ大学カーボンデール校	○	
174		ニューヨーク州立大学ニューパルツ校	○	
175		アラバマ大学	○	
176		ミズーリ州立大学	○	
177		カンザス大学		
178		ノースイースタン大学	○	
179		南カリフォルニア大学		
180		メンフィス大学	○	
181		テンプル大学	○	
182		カリフォルニア大学デービス校	○	
183	米国	南ユタ大学	○	
184		ラトガース大学		
185		ニューヨーク州立大学バッファロー校	○	
186		カリフォルニア州立大学フラトン校	○	
187		ネブラスカ大学オマハ校	○	
188		北テキサス大学		
189		ミネソタ州立大学モアヘッド校	○	
190		ペンシルベニア州立大学 教養学部	○	
191		ジョージア大学	○	
192		カリフォルニア州立大学ロングビーチ校	○	
193		カリフォルニア大学ロサンゼルス校		
194		サンディエゴ州立大学	○	
195		ミシガン州立大学		
196		ヨーク大学	○	
197		アルバータ大学	○	
198	カナダ	モントリオール大学	○	
199		マクマスター大学		
200		ユークン・カレッジ		
201		ラヴァル大学		
202	メキシコ	メキシコ国立自治大学	○	
203		グアナフアト大学	○	
204	ブラジル	FAAP - アルマンド・アルバレス・ペンチアード大学	○	
205		サンパウロ大学		
206	アルゼンチン	ラプラタ国立大学	○	
207		エアフィット大学	○	
208	コロンビア	ホルヘ・タデオ・ロザーノ大学	○	
209		ロサリオ大学		
210	国際機関	国際連合食糧農業機関(FAO)		

計 210大学・機関

学部間等協定校

	国名	協定大学名	学生交流	備考	
1	中国	中央財経大学 商学院	○	政治経済学研究科 経営学研究科	
2		北京大学 政府管理学院	○	政治経済学部	
3		北京師範大学 歴史学院	○	文学部	
4		中山大学 国際商学院	○	経営学部	
5		對外經濟貿易大学 国際商学院	○	経営学部	
6		西南交通大学 公共管理学院	○	政治経済学部	
7		南京師範大学 法学院	○	法学部 法学研究科 法科大学院	
8		香港城市大学 商学院	○	経営学部	
		香港城市大学 人文社会科学学院	○	情報コミュニケーション学部	
9		韓国	高麗大学 文科大学	○	文学部
10			ソウル大学 経営大学	○	経営学部
11			延世大学 政治経済大学	○	政治経済学部
			延世大学 社会科学大学政治外交学科	○	政治経済学部
12			全北大学 人文大学	○	情報コミュニケーション学部
13	又松大学 経営大学院		○	経営学研究科	
14	韓国刑事政策研究院			法学研究科	
15	成均館大学 芸術大学・芸術大学院	○	情報コミュニケーション学部 情報コミュニケーション研究科		
16	台湾	国立台湾大学 生物資源・農学院農業経済学部		農学部	
		国立台湾大学 法律学院	○	法学研究科	
		国立台湾大学 社会科学学院	○	政治経済学部	
17		国立台湾科技大学 設計学院		理工学部	
18		弘光科技大学 工学院	○	理工学部	
19	国立台北科技大学 機電学院		理工学部		
20	ベトナム	ベトナム国家大学ハノイ外国語大学 東洋言語文化学部		情報コミュニケーション学部	
21		ベトナム国家大学ホーチミン市人文社会科学大学 国際関係学部	○	政治経済学部	
22	ラオス	ラオス国立大学		情報コミュニケーション学部	
23	シンガポール	シンガポール国立大学 設計・環境学部	○	理工学部	
24		南洋理工大学 人文社会科学部	○	政治経済学部	
25		カセサート大学カンペンセン校 農学部	○	農学部	
26	タイ	シーナカリンウィロート大学 サステイナビリティ研究国際学部	○	経営学部	
		シーナカリンウィロート大学 社会科学部	○	政治経済学部	
		シーナカリンウィロート大学 人文学部	○	政治経済学部	
		シーナカリンウィロート大学 人文学部	○	情報コミュニケーション学部	
		シーナカリンウィロート大学 経済・公共政策学部	○	政治経済学部	
		シーナカリンウィロート大学 経済・公共政策学部	○	経営学部	
		シーナカリンウィロート大学 経済・公共政策学部	○	農学部	
		シーナカリンウィロート大学 農産物革新・技術学部	○	農学部	
		27	タマサート大学 政治学部	○	政治経済学部
		28	チェンマイ大学 政治・公共管理学部	○	政治経済学部
29	チェンマイラジャパット大学 農業技術学部		農学部		
30		チュラロンコン大学 経済学部	○	政治経済学部	
		チュラロンコン大学 建築学部	○	理工学部	
		チュラロンコン大学 政治学部	○	政治経済学部	
		チュラロンコン大学 理学部	○	理工学部	
		チュラロンコン大学 理学部	○	農学部	
31		プリンスオブソクラー大学 経済学部	○	政治経済学部	
32		モンクット王工科大学トンブリ校 生物資源工学部		農学部	
		モンクット王工科大学ラカバン校 行政経営学部	○	政治経済学部	
33	インドネシア	ペトラクリスチャン大学	○	政治経済学部	
34	フィリピン	ヌエバ・ビスカヤ州立大学 農学部		農学部	
35	南アフリカ	ケープタウン大学 工学・建築環境学部		理工学部	
36	英国	カーディフ大学 カーディフビジネススクール	○	商学部	
37		オックスフォード大学ハートフォード校		国際日本学部	
38		サセックス大学 ビジネス・経営・経済学部		経営学研究科	
		サセックス大学		政治経済学部	
39		ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス サマースクール		政治経済学部	
40	ドイツ	プレーメン州立経済工科大学	○	商学部	
41		ビーレフェルト大学 言語学および文学部	○	文学部	
42		バンベルク大学 人文学部	○	文学部	
43		オスナブリュック応用科学大学 経営管理・社会科学部	○	経営学部	
			○	経営学研究科	
44		ヴッパータール大学	○	理工学部	
45		トゥールーズ第1キャピトル大学 経営管理大学院	○	経営学研究科	
46	フランス	レンヌ商科大学	○	商学部	
47		パリ商業高等大学	○	商学部	
48		フランスビジネススクール	○	経営学部	
49		パリ国立建築大学ラ・ヴィレット校	○	理工学部	
50		IPAGビジネススクール	○	経営学部	
51		レンヌ第1大学 経営学院	○	経営学研究科	
52		オーデンシア・ナント経営学院	○	経営学研究科	
53		パリカトリック大学 パリ電子工学院	○	理工学部	

	国名	協定大学名	学生交流	備考
54	スウェーデン	ルンド大学	○	政治経済学部 国際日本学部
55	イタリア	トリノ大学 農林・食品科学部		農学部
56	スペイン	IE大学	○	経営学部
57		ESADEビジネススクール		政治経済学部
58	ベルギー	ゲント大学 生物科学工学部		農学部
59	フィンランド	東フィンランド大学社会科学・ビジネス学部	○	政治経済学部
60	オランダ	ロッテルダム応用科学大学 ロッテルダムビジネススクール	○	政治経済学部
61	米国	オレゴン大学 建築・芸術学部	○	理工学部
		オレゴン大学	○	国際日本学部
62		ニューヨーク州立大学ニューパルツ校	○	国際日本学部
63		アラバマ大学	○	国際日本学部
64		インディアナ大学・パーデュー大学インディアナポリス校	○	国際日本学部
65		フロリダ州立大学	○	国際日本学部
66		メンフィス大学		情報コミュニケーション学部
67		アイオワ州立大学 農学・生命科学部		農学部
68		カリフォルニア大学バークレー校 サマーセッションズ		政治経済学部
69		ハワイ大学マノア校 熱帯農業人的資源学部	○	農学部
		ハワイ大学マノア校 アウトリーチカレッジ	○	国際日本学部
70		テンブル大学 教養学部	○	政治経済学部
71		カリフォルニア大学デービス校 エクステンション		政治経済学部
72		デューク大学 大学院及びアジア太平洋研究所	○	政治経済学研究所
73		ハワイ大学カピオラニコミュニティカレッジ	○	国際日本学部
74		ワシントン大学 建造環境学部	○	理工学部
75		ニューヨーク市立大学スタテンアイランド校		国際日本学部
76		カリフォルニア大学ロサンゼルス校 サマーセッションズ		政治経済学部
77		シラキュース大学		政治経済学部
78		カリフォルニア州立大学モンレーベイ校		情報コミュニケーション学部
79		グリーンリバーカレッジ	○	国際日本学部
80		エドモンズコミュニティカレッジ	○	国際日本学部
81		ピアスカレッジ	○	国際日本学部
82		シヨアラインコミュニティカレッジ	○	国際日本学部
83		ビュートカレッジ	○	国際日本学部
84		エベレットコミュニティカレッジ	○	国際日本学部
85		カリフォルニア大学アーバイン校 サマーセッション		政治経済学部
86		ボストン大学		政治経済学部
87	カナダ	サスカチュワン大学 農学・生物資源学部		農学部
88		ヴィクトリア大学	○	経営学部
89	ブラジル	サンパウロ大学 法学部	○	法学部 法学研究科 法科大学院

計 89大学

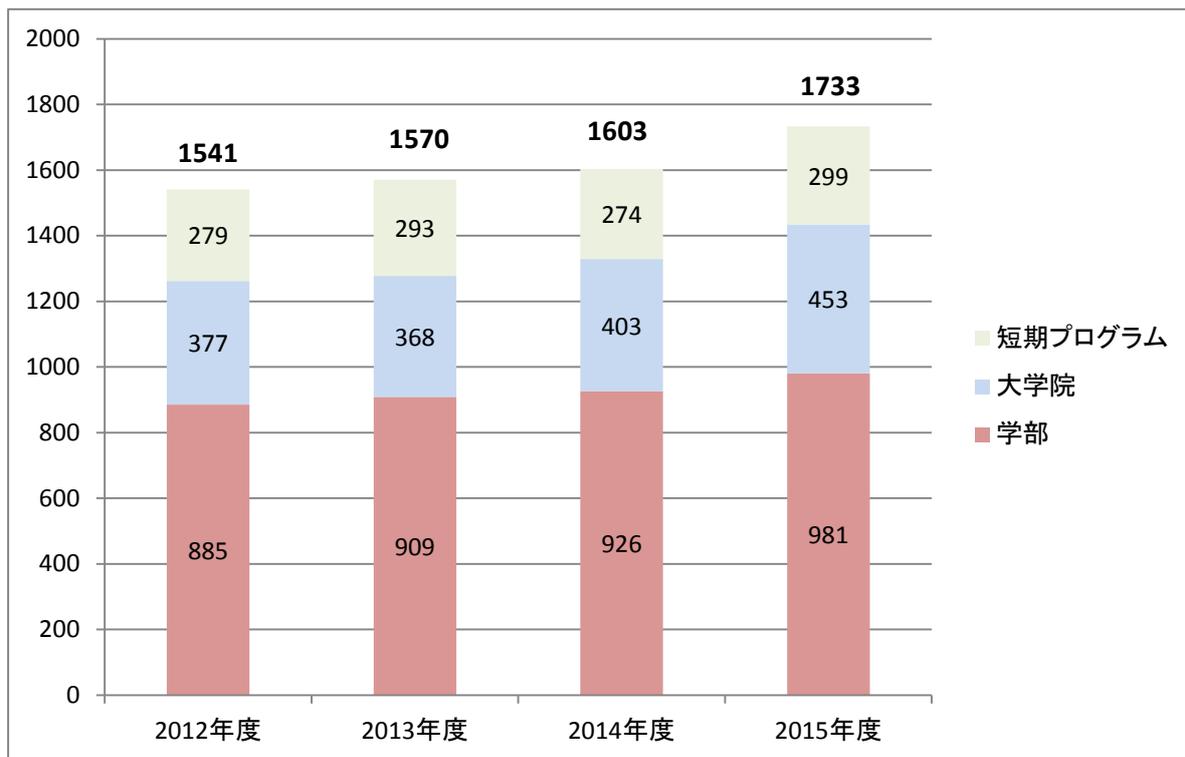
その他部局間(研究所間)協定校

	国名	協定大学名	学生交流	備考
1	台湾	国立交通大学 数学建模科学計算研究所 (IMMSC)		先端数理科学インスティテュート
2	ベトナム	ベトナム・ハノイ数学研究所 (IMVAST)		先端数理科学インスティテュート
3	英国	オックスフォード大学数理生物学センター (CMB)		先端数理科学インスティテュート
4	フランス	フランス国立社会科学高等研究院社会数理解析センター (CAMS)		先端数理科学インスティテュート
5		フランス国立科学研究センター(CNRS)		先端数理科学インスティテュート
6	イタリア	イタリアCNR応用数学研究所 (IAC)		先端数理科学インスティテュート
7	スペイン	マドリッド・コンプルテンセ大学 学際数学研究所 (IMI)		先端数理科学インスティテュート
8	ロシア	ロシア科学アカデミー極東支部極東地質学研究所		黒耀石研究センター

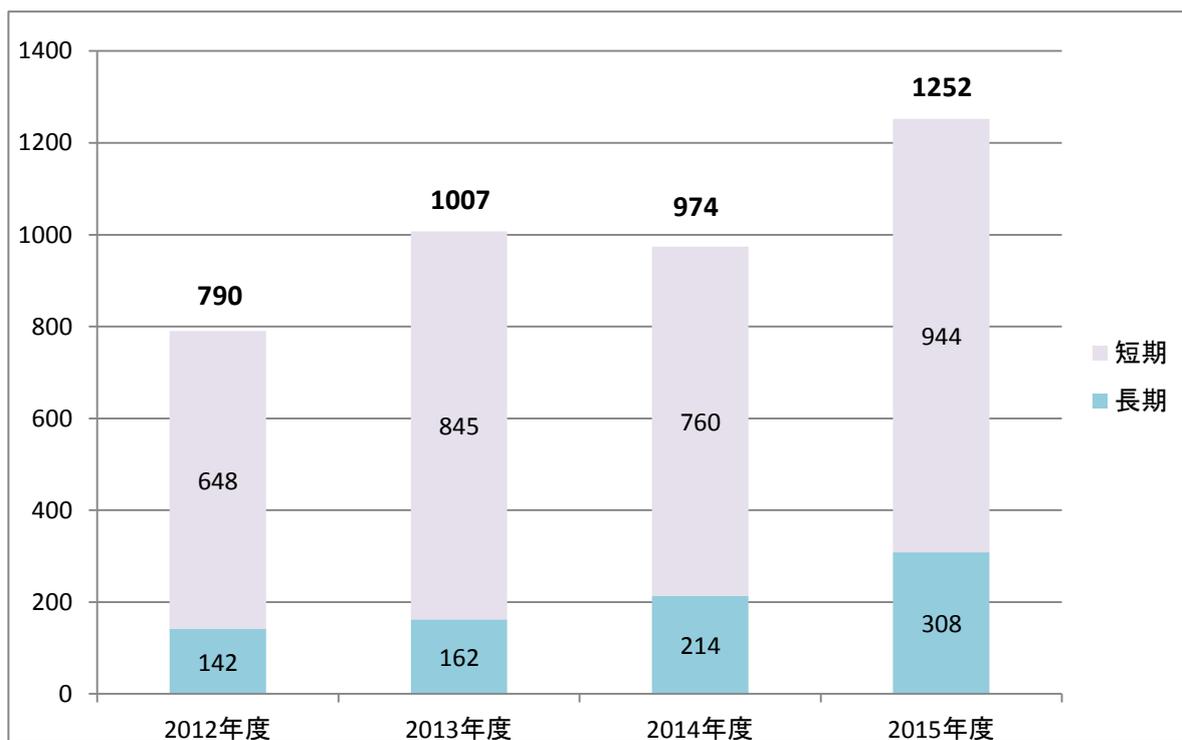
計 8大学等

(2)外国人受入留学生数及び海外派遣留学生数

①外国人受入留学生数



②海外派遣留学生数



(3)2016年度一般入学試験結果

①一般選抜入試結果

学部・方式・学科(専攻)	募集人員	志願者数		受験者数			合格者数			満点	合格最低点	合格最低得点率	競争率 受験者 /合格者			
		計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子					女子		
法学部 法学	330	4,488	3,101	1,387	3,868	2,693	1,175	903	642	261	350	227	64.9	4.3		
商学部 商学	450	7,700	5,402	2,298	6,848	4,784	2,064	1,351	973	378	350	218	62.3	5.1		
政治経済学部	政治学	105	1,844	1,354	490	1,689	1,251	438	463	350	113	350	251	71.7	3.6	
	経済学	290	5,321	4,283	1,038	4,999	4,034	965	992	820	172	350	247	70.6	5.0	
	地域行政学	70	865	594	271	832	572	260	150	105	45	350	241	68.9	5.5	
	計	465	8,030	6,231	1,799	7,520	5,857	1,663	1,605	1,275	330				4.7	
文学部	文学	日本文学	65	1,099	454	645	989	402	587	170	53	117	300	211	70.3	5.8
		英米文学	61	897	371	526	830	337	493	162	70	92	300	216	72.0	5.1
		ドイツ文学	18	353	134	219	311	118	193	55	22	33	300	206	68.7	5.7
		フランス文学	23	412	119	293	382	110	272	74	29	45	300	210	70.0	5.2
		演劇学	28	414	99	315	381	87	294	51	11	40	300	210	70.0	7.5
	史学地理学科	文芸メディア	36	663	225	438	616	211	405	101	39	62	300	217	72.3	6.1
		日本史学	45	922	589	333	863	551	312	93	58	35	300	228	76.0	9.3
		アジア史	18	338	166	172	307	153	154	56	23	33	300	216	72.0	5.5
		西洋史学	29	530	300	230	481	277	204	124	69	55	300	221	73.7	3.9
		考古学	22	259	145	114	234	133	101	56	37	19	300	207	69.0	4.2
	心理社会科学科	地理学	26	261	196	65	236	177	59	54	37	17	300	206	68.7	4.4
		臨床心理学	22	570	196	374	522	183	339	59	26	33	300	221	73.7	8.8
		現代社会学	23	452	180	272	400	161	239	70	26	44	300	218	72.7	5.7
計	416	7,170	3,174	3,996	6,552	2,900	3,652	1,125	500	625				5.8		
理工学部	電気電子生命学科	電気電子工学	75	1,044	979	65	1,007	943	64	344	318	26	360	232	64.4	2.9
		生命理工学	26	384	278	106	370	269	101	133	85	48	360	238	66.1	2.8
	機械工学科	65	2,034	1,913	121	1,957	1,844	113	489	465	24	360	260	72.2	4.0	
	機械情報工学科	61	936	862	74	913	841	72	288	262	26	360	235	65.3	3.2	
	建築学	83	1,870	1,390	480	1,800	1,342	458	334	248	86	360	261	72.5	5.4	
	応用化学科	50	1,692	1,267	425	1,626	1,220	406	583	449	134	360	250	69.4	2.8	
	情報科学科	60	1,509	1,340	169	1,458	1,291	167	332	283	49	360	249	69.2	4.4	
	数学科	30	552	478	74	532	459	73	174	153	21	360	240	66.7	3.1	
物理学	30	831	720	111	800	695	105	319	285	34	360	245	68.1	2.5		
計	480	10,852	9,227	1,625	10,463	8,904	1,559	2,996	2,548	448				3.5		
農学部	農学	77	1,527	1,038	489	1,338	922	416	275	183	92	300	202	67.3	4.9	
	芸化学科	77	1,184	545	639	1,045	491	554	205	99	106	300	204	68.0	5.1	
	生命科学科	82	1,779	1,031	748	1,581	920	661	300	171	129	300	208	69.3	5.3	
	食料環境政策学科	70	1,082	665	417	1,009	631	378	181	102	79	300	201	67.0	5.6	
計	306	5,572	3,279	2,293	4,973	2,964	2,009	961	555	406				5.2		
経営学部	経営学	310	6,737	4,821	1,916	6,477	4,619	1,858	1,556	1,123	433	350	232	66.3	4.2	
	会計学															
	公共経営学															
情報コミュニケーション学部	A方式 情報コミュニケーション学	310	4,626	2,524	2,102	4,519	2,455	2,064	877	471	406	300	191	63.7	5.2	
	B方式 情報コミュニケーション学	20	99	80	19	93	74	19	29	21	8	300	196	65.3	3.2	
計	330	4,725	2,604	2,121	4,612	2,529	2,083	906	492	414				5.1		
国際日本学部	国際日本学	180	3,259	1,061	2,198	3,174	1,025	2,149	746	231	515	450	312	69.3	4.3	
総合数理学部	現象数理学	34	696	558	138	599	479	120	99	79	20	320	167	52.2	6.1	
	先端メディアサイエンス学	42	704	516	188	596	439	157	80	63	17	320	168	52.5	7.5	
	ネットワークデザイン学	30	441	358	83	373	309	64	75	62	13	320	143	44.7	5.0	
計	106	1,841	1,432	409	1,568	1,227	341	254	204	50				6.2		
一般選抜入学試験 合計		3,373	60,374	40,332	20,042	56,055	37,502	18,553	12,403	8,543	3,860				4.5	

②全学部統一入学試験結果

学部・方式・学科(専攻)	募集人員	志願者数			受験者数			合格者数			満点	合格最低点	合格最低得点率	競争率 受験者/合格者		
		計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子						
法学部	法律学科	100	2,054	1,388	666	1,987	1,343	644	456	327	129	300	216	72.0	4.4	
商学部	商学科	60	1,781	1,165	616	1,729	1,127	602	249	169	80	450	330	73.3	6.9	
政治経済学部	政治学科	10	224	161	63	134	98	36	38	22	16	450	306	68.0	3.5	
	経済学科	25	813	659	154	586	470	116	168	132	36	450	306	68.0	3.5	
	地域行政学科	10	97	64	33	51	28	23	17	8	9	450	288	64.0	3.0	
	計	45	1,134	884	250	771	596	175	223	162	61				3.5	
文学部	文学科	日本文学	12	375	155	220	366	151	215	49	19	30	300	219	73.0	7.5
		英米文学	15	479	183	296	465	177	288	68	24	44	300	219	73.0	6.8
		ドイツ文学	3	131	50	81	127	46	81	19	9	10	300	213	71.0	6.7
		フランス文学	4	235	72	163	228	71	157	18	3	15	300	219	73.0	12.7
		演劇学	4	219	43	176	211	41	170	19	4	15	300	225	75.0	11.1
		文芸メディア	5	245	91	154	240	89	151	22	7	15	300	226	75.3	10.9
	史学地理学科	日本史学	9	328	217	111	323	214	109	14	11	3	300	232	77.3	23.1
		アジア史	4	171	81	90	166	79	87	18	7	11	300	222	74.0	9.2
		西洋史学	6	184	115	69	180	113	67	10	3	7	300	230	76.7	18.0
		考古学	4	134	76	58	130	74	56	19	14	5	300	218	72.7	6.8
		地理学	6	144	110	34	138	105	33	22	18	4	300	214	71.3	6.3
	心理社会学科	臨床心理学	8	340	111	229	333	110	223	35	11	24	300	222	74.0	9.5
		現代社会学	8	285	119	166	278	116	162	31	13	18	300	226	75.3	9.0
		計	88	3,270	1,423	1,847	3,185	1,386	1,799	344	143	201				9.3
理工学部	電気電子生命学科	電気電子工学	16	281	256	25	259	237	22	95	82	13	400	259	64.8	2.7
		生命理工学	8	121	82	39	107	72	35	34	23	11	400	270	67.5	3.1
	機械工学科	10	559	525	34	500	472	28	115	110	5	400	285	71.3	4.3	
	機械情報工学科	10	302	277	25	278	255	23	75	68	7	400	271	67.8	3.7	
	建築学科	18	593	437	156	544	409	135	115	86	29	400	287	71.8	4.7	
	応用化学科	9	382	276	106	350	254	96	100	76	24	400	277	69.3	3.5	
	情報科学科	8	368	316	52	336	288	48	83	69	14	400	271	67.8	4.0	
	数学科	7	180	147	33	173	142	31	63	50	13	400	258	64.5	2.7	
物理学科	4	155	137	18	142	126	16	43	42	1	400	270	67.5	3.3		
計	90	2,941	2,453	488	2,689	2,255	434	723	606	117				3.7		
農学部	農学科	15	497	321	176	471	301	170	75	46	29	300	215	71.7	6.3	
	農芸化学科	15	401	195	206	383	188	195	53	30	23	300	220	73.3	7.2	
	生命科学科	10	493	282	211	461	265	196	59	42	17	300	222	74.0	7.8	
	食料環境政策学科	10	325	191	134	313	182	131	44	28	16	300	213	71.0	7.1	
計	50	1,716	989	727	1,628	936	692	231	146	85				7.0		
経営学部	経営学科	30	1,695	1,200	495	1,645	1,167	478	241	180	61	350	254	72.6	6.8	
情報コミュニケーション学部	情報コミュニケーション学科	20	1,421	718	703	1,379	699	680	180	86	94	350	250	71.4	7.7	
国際日本学部	国際日本学科	28	1,117	357	760	1,095	348	747	128	55	73	400	291	72.8	8.6	
総合数理学部	3科目方式	現象数理学科	6	45	33	12	38	27	11	12	7	5	400	253	63.3	3.2
		先端メディアサイエンス学科	8	99	61	38	85	51	34	17	8	9	400	242	60.5	5.0
		ネットワークデザイン学科	2	37	21	16	34	20	14	13	9	4	400	226	56.5	2.6
	4科目方式	現象数理学科	13	191	145	46	182	139	43	48	38	10	500	332	66.4	3.8
		先端メディアサイエンス学科	16	289	207	82	273	198	75	76	53	23	500	330	66.0	3.6
ネットワークデザイン学科	17	166	136	30	157	130	27	60	47	13	500	299	59.8	2.6		
計	62	827	603	224	769	565	204	226	162	64				3.4		
全学部統一入学試験 合計		573	17,956	11,180	6,776	16,877	10,422	6,455	3,001	2,036	965				5.6	

全学部統一入学試験

③大学入試センター試験利用入学試験結果

学部・方式・学科(専攻)	募集人員	志願者数			受験者数			合格者数			競争率 受験者/合格者				
		計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子					
法学部	3科目方式	法律学科	50	1,526	947	579	1,520	941	579	442	254	188	3.4		
	4科目方式	法律学科	40	619	390	229	618	390	228	425	263	162	1.5		
	5科目方式	法律学科	30	1,237	851	386	1,236	851	385	683	457	226	1.8		
	計		120	3,382	2,188	1,194	3,374	2,182	1,192	1,550	974	576	2.2		
商学部	3科目方式	商学科	50	1,179	766	413	1,174	762	412	181	107	74	6.5		
	4科目方式	商学科	40	638	414	224	636	413	223	196	119	77	3.2		
	6科目方式	商学科	25	364	259	105	364	259	105	67	47	20	2.4		
	計		115	2,181	1,439	742	1,974	1,289	685	444	273	171	4.4		
政治経済学部	3科目方式	政治学科	10	459	325	134	458	324	134	84	52	32	5.5		
		経済学科	20	732	576	156	729	574	155	92	71	21	7.9		
	7科目方式	政治学科	15	698	486	212	695	483	212	313	198	115	2.2		
		経済学科	50	2,404	1,920	484	2,383	1,903	480	989	783	206	2.4		
		地域行政学科	15	326	227	99	321	223	98	101	64	37	3.2		
計		110	4,619	3,534	1,085	4,586	3,507	1,079	1,579	1,168	411	2.9			
文学部	3科目方式	文学科	日本文学	6	439	158	281	435	155	280	83	23	60	5.2	
			英米文学	6	425	149	276	424	148	276	79	26	53	5.4	
			ドイツ文学	2	140	39	101	138	38	100	25	4	21	5.5	
			フランス文学	2	144	26	118	143	26	117	21	6	15	6.8	
			演劇学	3	226	44	182	225	44	181	25	5	20	9.0	
		文芸メディア	4	346	124	222	343	123	220	45	13	32	7.6		
		史学地理学科	日本史学	5	407	235	172	406	234	172	53	24	29	7.7	
			アジア史	3	153	68	85	153	68	85	30	9	21	5.1	
			西洋史学	4	213	101	112	213	101	112	27	10	17	7.9	
			考古学	3	139	69	70	139	69	70	21	7	14	6.6	
	地理学		4	145	107	38	143	106	37	26	14	12	5.5		
	心理社会学科	臨床心理学	4	303	96	207	302	96	206	44	13	31	6.9		
		現代社会学	4	198	77	121	197	76	121	50	16	34	3.9		
	5科目方式	文学科	日本文学	3	128	56	72	128	56	72	20	10	10	6.4	
			英米文学	3	88	39	49	88	39	49	24	10	14	3.7	
			ドイツ文学	2	51	26	25	47	23	24	9	5	4	5.2	
			フランス文学	2	51	11	40	50	10	40	13	2	11	3.8	
			演劇学	2	34	9	25	34	9	25	4	1	3	8.5	
		文芸メディア	2	69	26	43	68	26	42	10	5	5	6.8		
		史学地理学科	日本史学	3	145	102	43	144	101	43	20	13	7	7.2	
			アジア史	2	57	27	30	57	27	30	14	6	8	4.1	
			西洋史学	2	92	52	40	92	52	40	11	6	5	8.4	
			考古学	2	46	32	14	45	31	14	13	8	5	3.5	
			地理学	2	76	56	20	76	56	20	15	10	5	5.1	
		心理社会学科	臨床心理学	2	114	45	69	114	45	69	18	7	11	6.3	
			現代社会学	2	100	42	58	99	41	58	19	7	12	5.2	
		計		79	4,329	1,816	2,513	4,303	1,800	2,503	719	260	459	6.0	
理工学部		3教科方式	電気電子生命学科	電気電子工学	6	428	397	31	428	397	31	152	143	9	2.8
				生命理工学	2	234	168	66	234	168	66	60	43	17	3.9
			機械工学	機械工学	5	830	784	46	828	782	46	230	218	12	3.6
	機械情報工学科			9	561	511	50	561	511	50	215	196	19	2.6	
	情報科学			7	909	788	121	901	781	120	265	228	37	3.4	
	4教科方式	電気電子生命学科	電気電子工学	3	227	200	27	225	198	27	74	63	11	3.0	
			生命理工学	1	149	85	64	148	84	64	35	21	14	4.2	
		機械工学	機械工学	5	576	515	61	576	515	61	149	125	24	3.9	
			建築学	12	1,094	760	334	1,090	757	333	250	164	86	4.4	
		応用化学	7	803	562	241	802	562	240	254	182	72	3.2		
		数学	4	324	272	52	324	272	52	130	112	18	2.5		
		物理学	7	466	387	79	460	381	79	175	144	31	2.6		
	計		68	6,601	5,429	1,172	6,577	5,408	1,169	1,989	1,639	350	3.3		
	農学部	農学	15	634	389	245	622	380	242	208	107	101	3.0		
農芸化学		15	484	200	284	479	197	282	153	54	99	3.1			
生命科学		15	817	437	380	806	427	379	237	124	113	3.4			
食料環境政策学		15	467	243	224	466	242	224	128	66	62	3.6			
計			60	2,402	1,269	1,133	2,373	1,246	1,127	726	351	375	3.3		

大学入試センター試験利用入学試験(前期日程)

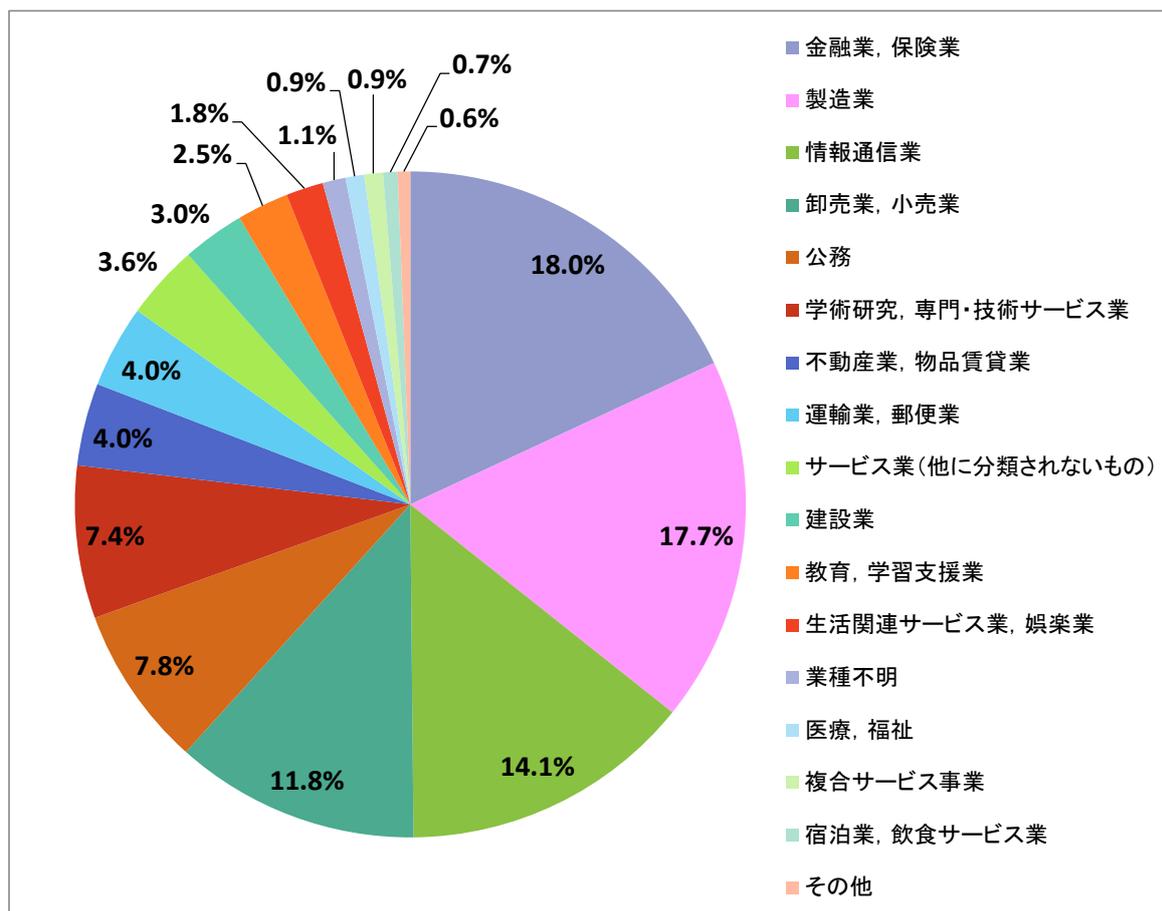
経営学部	3科目方式	経営学 会計学 公共経営学	30	1,376	920	456	1,374	919	455	360	219	141	3.8
	4科目方式	経営学 会計学 公共経営学	25	988	685	303	987	684	303	303	185	118	3.3
	計		55	2,364	1,605	759	2,361	1,603	758	663	404	259	3.6
情報コミュニケーション学部	3科目方式	情報コミュニケーション学	30	1,284	657	627	1,276	652	624	263	127	136	4.9
	6科目方式	情報コミュニケーション学	10	305	153	152	304	152	152	117	54	63	2.6
	計		40	1,589	810	779	1,580	804	776	380	181	199	4.2
国際日本学部	3科目方式	国際日本学	20	1,222	369	853	1,221	368	853	245	63	182	5.0
	4科目方式	国際日本学	10	407	139	268	407	139	268	132	46	86	3.1
	計		30	1,629	508	1,121	1,628	507	1,121	377	109	268	4.3
総合数理学部		現象数理学	7	200	153	47	194	147	47	43	32	11	4.5
		先端メディアサイエンス学	9	299	203	96	294	198	96	61	42	19	4.8
		ネットワークデザイン学	7	130	90	40	127	88	39	44	28	16	2.9
	計		23	629	446	183	615	433	182	148	102	46	4.2
前期日程 小計			700	29,725	19,044	10,681	29,371	18,779	10,592	8,575	5,461	3,114	3.4

学部・方式・学科(専攻)	募集人員	志願者数		受験者数			合格者数			進学率 受験者/合格者			
		計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子		女子		
商学部	商学	25	153	98	55	149	95	54	64	42	22	2.3	
政治経済学部	政治学	5	22	15	7	17	11	6	7	4	3	2.4	
	経済学	10	80	58	22	71	50	21	32	24	8	2.2	
	計	15	102	73	29	88	61	27	39	28	11	2.3	
理工学部	電気電子生命学	1	17	16	1	17	16	1	6	6	0	2.8	
	電気電子学	1	17	13	4	17	13	4	9	7	2	1.9	
	生命理工学	1	24	23	1	24	23	1	7	6	1	3.4	
	機械情報工学	1	22	16	6	22	16	6	6	4	2	3.7	
	建築学	1	18	13	5	18	13	5	4	3	1	4.5	
	応用化学	1	23	20	3	23	20	3	9	7	2	2.6	
	情報科学	1	10	8	2	10	8	2	6	5	1	1.7	
	数学	1	14	14	0	14	14	0	6	6	0	2.3	
物理学	1	14	14	0	14	14	0	6	6	0	2.3		
計	8	145	123	22	145	123	22	53	44	9	2.7		
総合数理学部	現象数理学	1	17	15	2	17	15	2	5	5	0	3.4	
	先端メディアサイエンス学	1	12	11	1	12	11	1	3	2	1	4.0	
	ネットワークデザイン学	1	16	10	6	15	10	5	1	1	0	15.0	
	計	3	45	36	9	44	36	8	9	8	1	4.9	
後期日程 小計			51	445	330	115	426	315	111	165	122	43	2.6
大学入試センター試験利用入学試験 合計			751	30,170	19,374	10,796	29,797	19,094	10,703	8,740	5,583	3,157	3.4

一般入試総計	4,697	108,500	70,886	37,614	102,729	67,018	35,711	24,144	16,162	7,982	4.3
--------	-------	---------	--------	--------	---------	--------	--------	--------	--------	-------	-----

(4) 業種別就職状況及び主な就職先

①業種別就職状況



②主な就職先

順位	内定先名称	人数
1	(株)みずほフィナンシャルグループ	91
2	東京特別区	57
3	国家公務員 一般職	56
4	(株)三菱東京UFJ銀行	52
5	りそなグループ	44
6	(株)三井住友銀行	39
7	日本郵政グループ	35
8	損害保険ジャパン日本興亜(株)	29
8	三井住友海上火災保険(株)	29
10	東日本旅客鉄道(株)	27
10	(株)日立製作所	27
12	あいおいニッセイ同和損害保険(株)	25
12	(株)千葉銀行	25
12	(株)ワークスアプリケーションズ	25
15	SMBC日興証券(株)	24
16	(株)大和証券グループ本社	23
17	東京都庁	21
18	第一生命保険(株)	20
18	野村證券(株)	20
20	東日本電信電話(株)	19

順位	内定先名称	人数
21	ソフトバンクグループ	18
21	日本電気(株)	18
21	三菱電機(株)	18
24	JTBグループ【旅行事業会社群】	17
24	富士通(株)	17
24	本田技研工業(株)	17
24	みずほ証券(株)	17
28	全日本空輸(株)	16
28	三菱UFJ信託銀行(株)	16
28	(株)横浜銀行	16
31	いすゞ自動車(株)	15
31	オリンパス(株)	15
31	(株)日本政策金融公庫	15
34	警視庁	14
34	KDDI(株)	14
34	(株)常陽銀行	14
34	凸版印刷(株)	14
34	日本アイ・ビー・エム(株)	14
34	パナソニック(株)	14
34	明治安田生命保険(相)	14

2016年3月31日現在